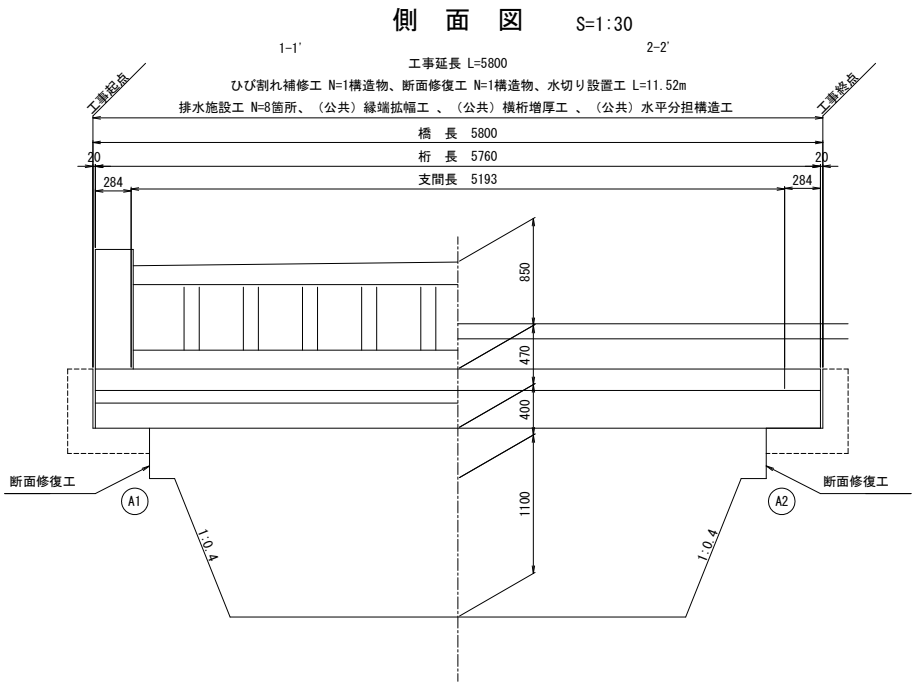


図 面 目 録

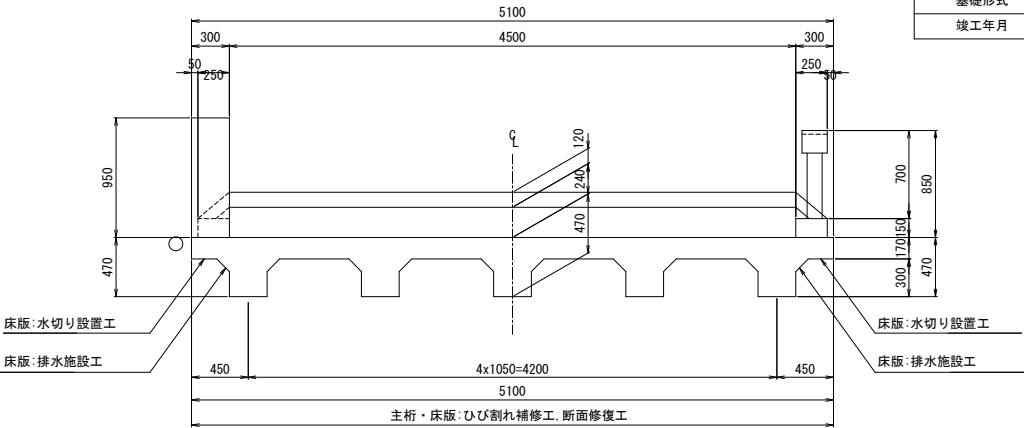
1	鎌倉口橋	補修一般図	12	糖岳橋	補修一般図
2	鎌倉口橋	補修図（その１）	13	糖岳橋	補修図（その１）
3	鎌倉口橋	補修図（その２）	14	糖岳橋	補修図（その２）
4	鎌倉口橋	補修図（その３）	15	糖岳橋	補修図（その３）
5	鎌倉口橋	補修図（その４）	16	糖岳橋	補修図（その４）
6	鎌倉口橋	補修図（その５）	17	糖岳橋	補修図（その５）
7	鎌倉口橋	補修図（その６）	18	糖岳橋	仮設工１（参考図）
8	鎌倉口橋	補修図（その７）	19	糖岳橋	仮設工２（参考図）
9	鎌倉口橋	耐震補強一般図	20	蔵前橋	補修一般図
10	鎌倉口橋	耐震補強詳細図（その１）	21	蔵前橋	補修図（その１）
11	鎌倉口橋	耐震補強詳細図（その２）	22	蔵前橋	補修図（その２）

鎌倉口橋 補修一般図

S=1:30

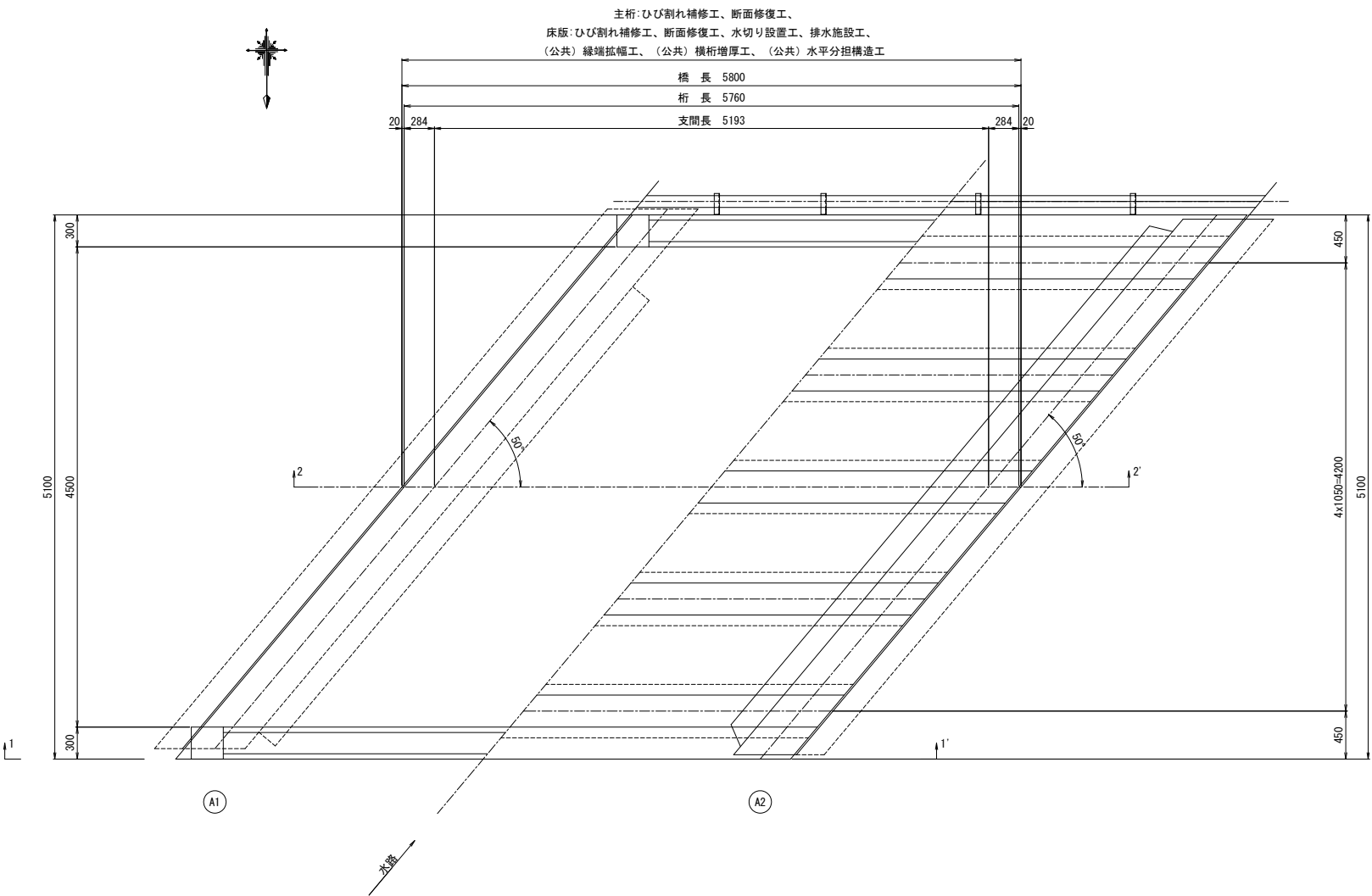


上部構造正面図 S=1:30

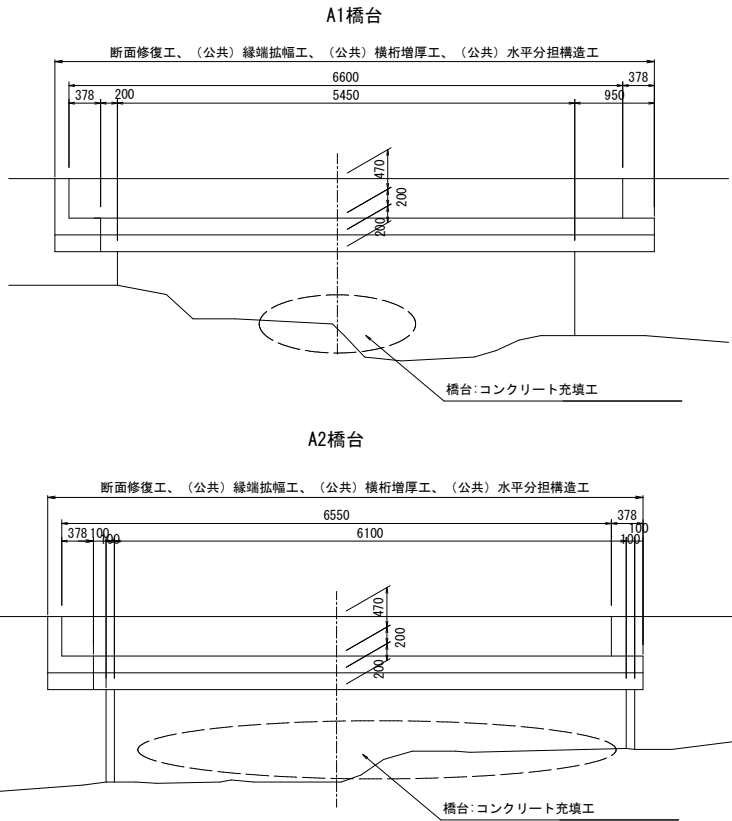


橋梁諸元	
橋梁形式	RC単純T桁橋
適用示方書	大正15年 鉄筋コンクリート道路橋設計示方書
設計荷重	—
橋長	5.800m
桁長	5.193m
全幅員	5.100m
有効幅員	4.500m
下部工形式	—
基礎形式	—
竣工年月	1930年(昭和5年)

平面図 S=1:30



下部構造正面図 S=1:20



補修箇所一覧表

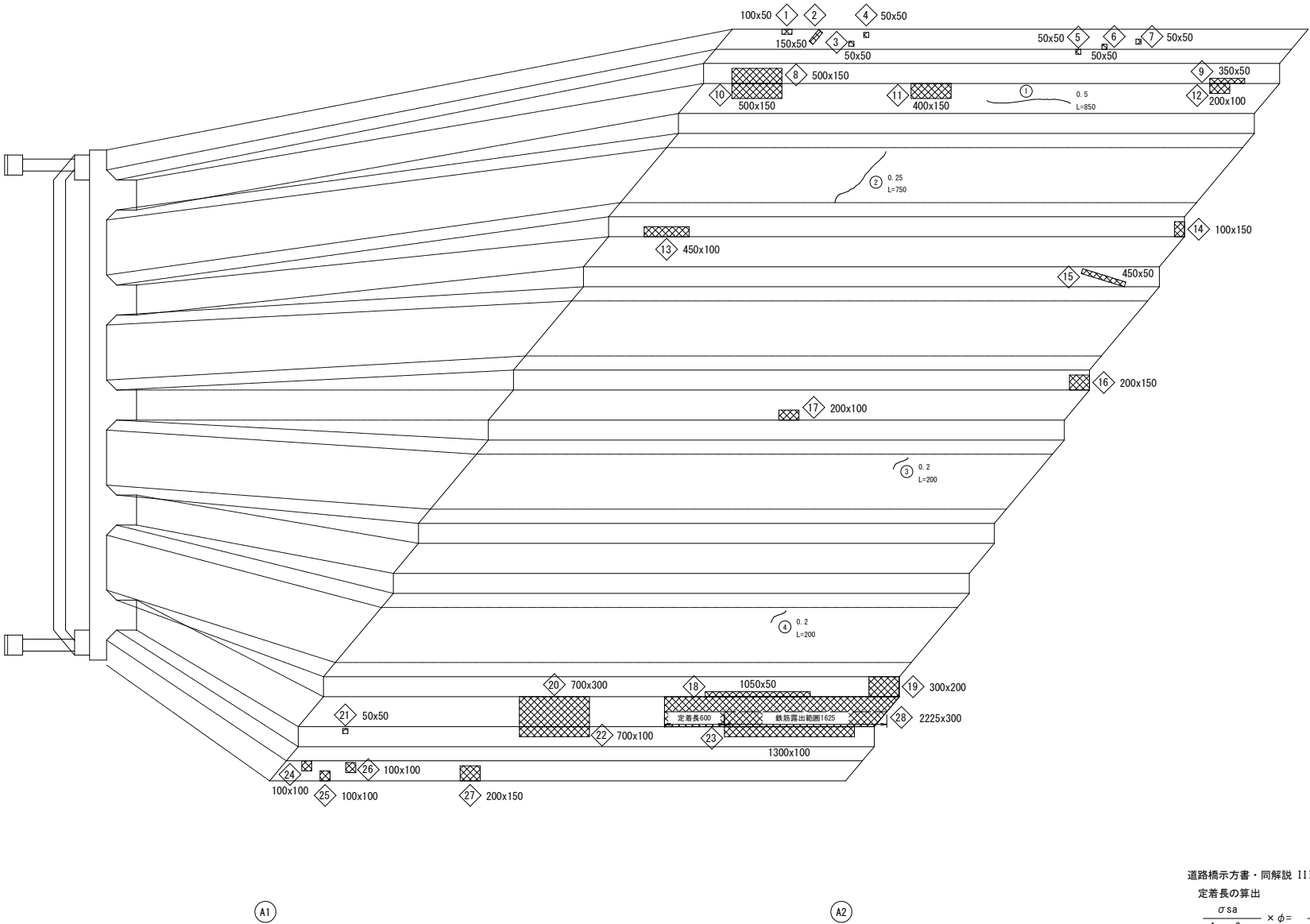
対象部位		損傷内容	補修項目
上部工	主桁	剥離・鉄筋露出、うき	断面修復工
		ひびわれ	ひびわれ補修工
		排水孔の流末不備	排水施設工
	床版	床版ひびわれ	ひびわれ補修工
下部工	橋台	剥離・鉄筋露出	断面修復工
		水切り設置工	水切り設置工
		洗掘	コンクリート充填工

注) (公共) とは公共関連工事を示す。

工事名	鎌倉口橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市左京区花脊大布施町他地内		
図面名	鎌倉口橋 補修一般図		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	1/22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

鎌倉口橋 補修図(その1) S=1:30

断面修復工、ひび割れ補修工（桁下面）



道路橋示方書・同解説 III 平成29年度11月 5.2.7 (P84) より
定着長の算出
$$\frac{\sigma_{sa}}{4 \times \tau_{0a}} \times \phi = \frac{200}{4 \times 1.4} \times 16 = 600$$

 σ_{sa} : 鉄筋の引張応力度の基本値 (N/mm²)
 τ_{0a} : コンクリートの付着応力度の基本値 (N/mm²)
 ϕ : 鉄筋の直径 (mm)
※コンクリート設計基準強度を21N/mm²とする。

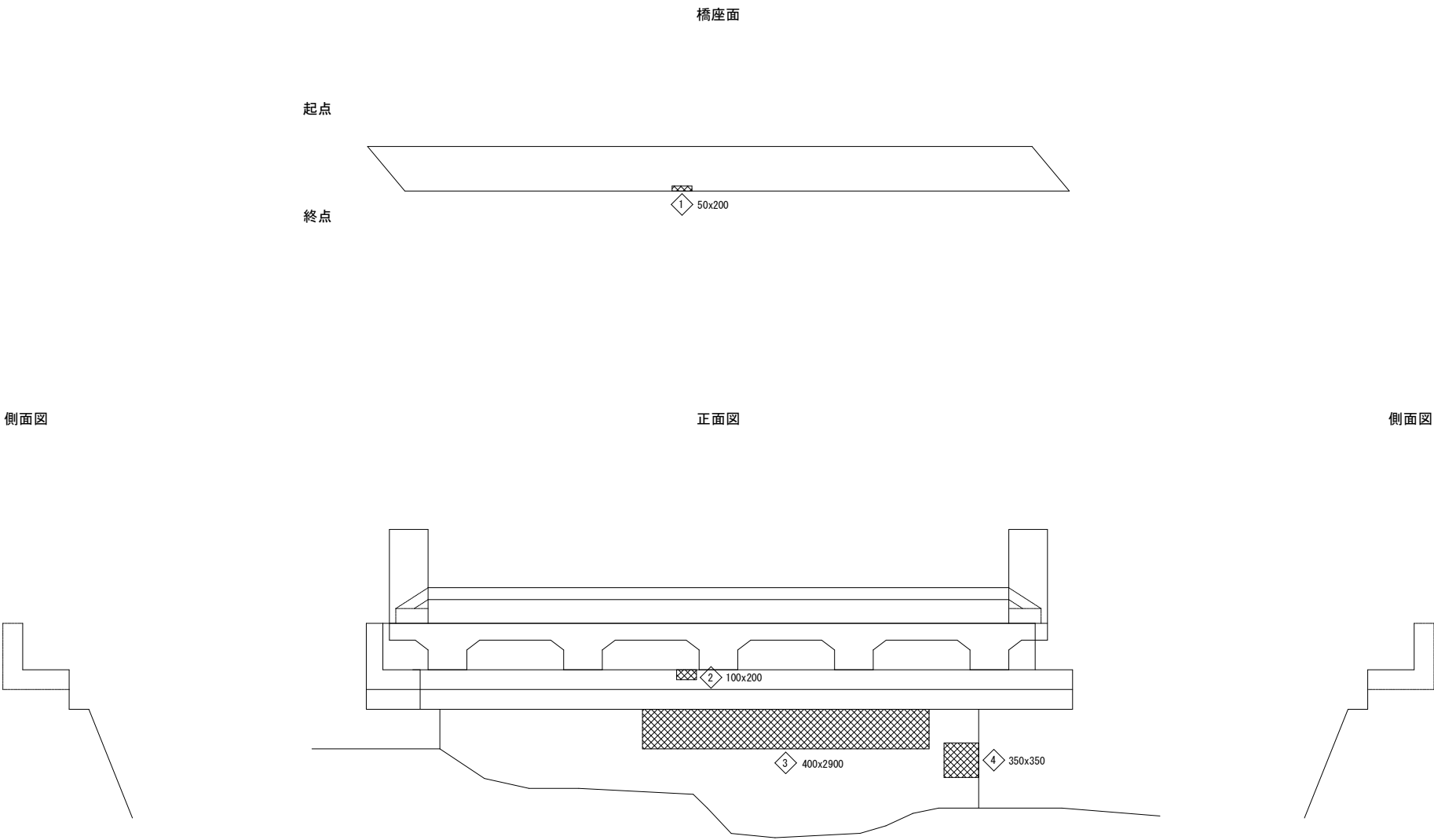
補修 凡例	
損傷の種類	表示
断面修復工	
ひびわれ注入工	

工 事 名	鎌倉口橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市左京区花脊大布施町他地内		
図 面 名	鎌倉口橋 補修図(その1)		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	2/22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

鎌倉口橋 補修図(その2)

S=1:30

断面修復工（A1橋台）



補修 凡例	
損傷の種類	表示
断面修復工	 

工 事 名	鎌倉口橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市左京区花脊大布施町他地内		
図 面 名	鎌倉口橋 補修図(その2)		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	3/22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

鎌倉口橋 補修図(その3)

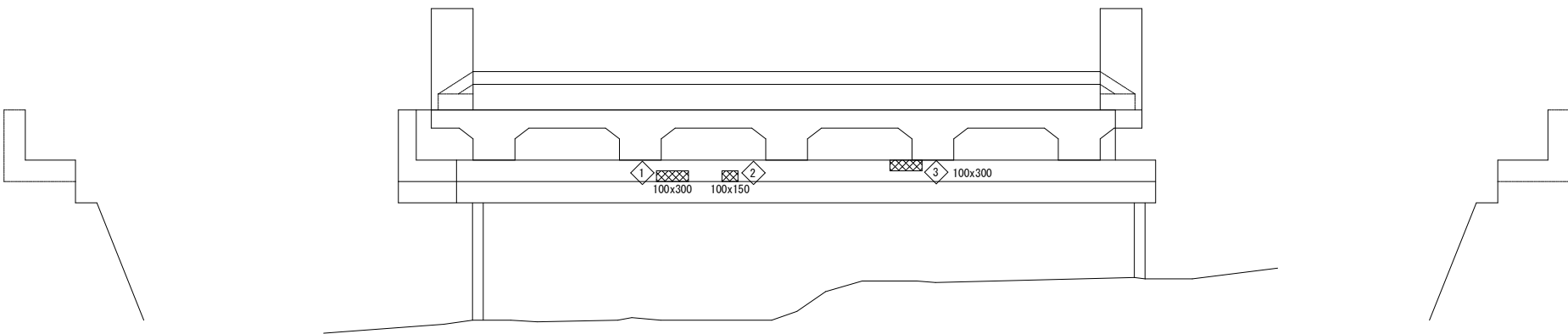
S=1:30

断面修復工（A2橋台）

側面図

正面図

側面図



補修 凡例	
損傷の種類	表示
断面修復工	 

工 事 名	鎌倉口橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市左京区花脊大布施町他地内		
図 面 名	鎌倉口橋 補修図(その3)		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	4/22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

鎌倉口橋 補修図(その4)

S=1:30

断面修復工・ひび割れ補修工

断面修復工詳細図(上部工)

断面修復工

上部工(桁下面)						
番号	防錆処理	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	面積(m2)	体積(m3)
①	有	0.100	0.050	0.050	0.005	0.0003
②	有	0.150	0.050	0.050	0.008	0.0004
③	有	0.050	0.050	0.050	0.003	0.0002
④	有	0.050	0.050	0.050	0.003	0.0002
⑤	有	0.050	0.050	0.050	0.003	0.0002
⑥	有	0.050	0.050	0.050	0.003	0.0002
⑦	有	0.050	0.050	0.050	0.003	0.0002
⑧	有	0.500	0.150	0.050	0.075	0.0038
⑨	有	0.350	0.050	0.050	0.018	0.0009
⑩	有	0.500	0.150	0.050	0.075	0.0038
⑪	有	0.400	0.150	0.050	0.060	0.0030
⑫	有	0.200	0.100	0.050	0.020	0.0010
⑬	無	0.450	0.100	0.010	0.045	0.0005
⑭	有	0.100	0.150	0.050	0.015	0.0008
⑮	無	0.450	0.050	0.010	0.023	0.0002
⑯	無	0.200	0.150	0.010	0.030	0.0003
⑰	有	0.200	0.100	0.050	0.020	0.0010
⑱	有	1.050	0.050	0.050	0.053	0.0027
⑲	有	0.300	0.200	0.050	0.060	0.0030
⑳	有	0.700	0.300	0.050	0.210	0.0105
㉑	有	0.050	0.050	0.050	0.003	0.0002
㉒	有	0.700	0.100	0.050	0.070	0.0035
㉓	有	1.300	0.100	0.050	0.130	0.0065
㉔	有	0.100	0.100	0.050	0.010	0.0005
㉕	有	0.100	0.100	0.050	0.010	0.0005
㉖	有	0.100	0.100	0.050	0.010	0.0005
㉗	有	0.200	0.150	0.050	0.030	0.0015
㉘	有	2.225	0.300	0.050	0.668	0.0334
合 計 (防錆処理有)					1.565	0.0788
合 計 (防錆処理無)					0.098	0.0010

上部工(桁下面)

断面修復工

下部工(A1橋台)						
番号	防錆処理	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	面積(m2)	体積(m3)
①	有	0.050	0.200	0.055	0.010	0.0006
②	有	0.100	0.200	0.055	0.020	0.0011
③	無	0.400	2.900	0.010	1.160	0.0116
④	無	0.350	0.350	0.010	0.123	0.0012
合 計 (防錆処理有)					0.030	0.0017
合 計 (防錆処理無)					1.283	0.0128

下部工(A1橋台)

断面修復工

下部工(A2橋台)						
番号	防錆処理	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	面積(m2)	体積(m3)
①	有	0.100	0.300	0.055	0.030	0.0017
②	有	0.100	0.150	0.055	0.015	0.0008
③	有	0.100	0.300	0.055	0.030	0.0017
合 計 (防錆処理有)					0.075	0.0042
合 計 (防錆処理無)					0.000	0.0000

下部工(A2橋台)

はつり深さ設定

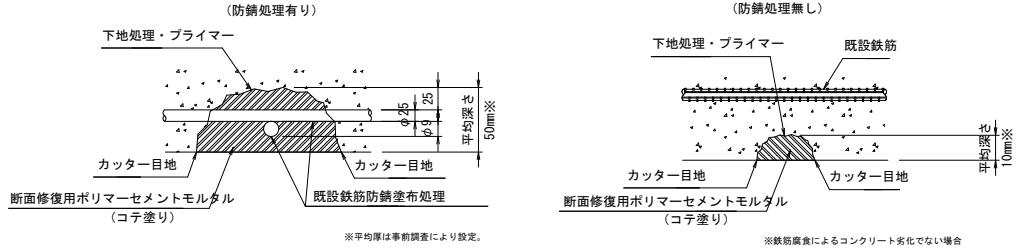
上部工(桁下面)		下部工(橋台)	
はつり調査結果(調査箇所: G3桁側面)		はつり調査結果(調査箇所: 橋座面)	
1主鉄筋	φ 25mm	1橋軸方向鉄筋	φ 6mm
2帯鉄筋	φ 9mm	2橋軸直角方向鉄筋	φ 8mm
3かぶり厚さ	22mm	3かぶり厚さ	59mm
4カッター目地	10mm	4カッター目地	10mm
5粗骨材寸法(25mm)	25mm	5粗骨材寸法(25mm)	25mm
計 (1 + 2 + 3 + 5)/2	45.5mm	計 (1 + 2 + 3 + 5)/2	54mm
設計厚	50mm	設計厚	55mm

※調査結果の鉄筋探査結果一覧より算出。

添え筋質量表

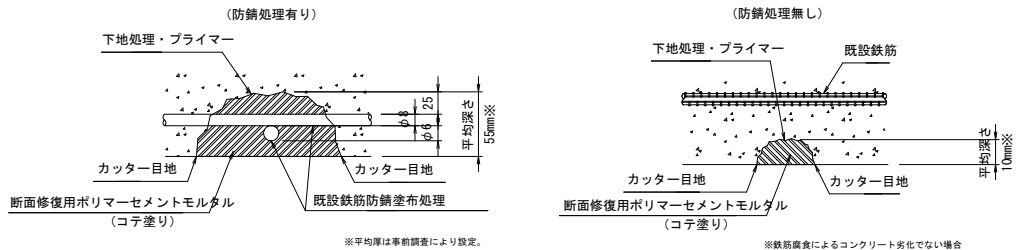
(RC主構部)						
径	長さ(mm)	本数	単位質量(kg/m)	一本当り質量(kg)	質量(kg)	備 考
D16	2225	1	1.560	3.47	3	――
D16(SD345)					3	kg
合計					3	kg

(RC主構部)



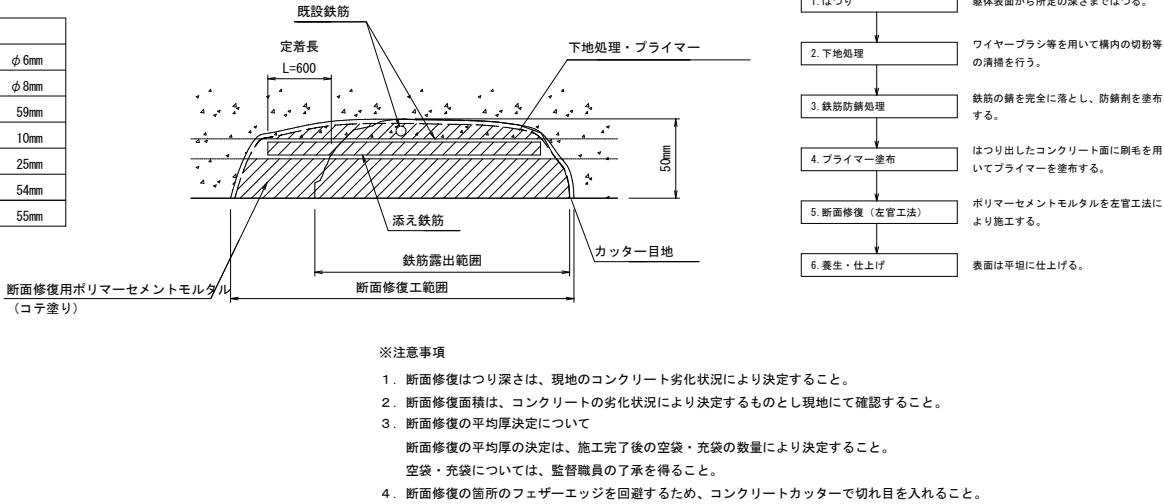
※平均厚は事前調査により設定。

断面修復工詳細図(下部工)



※平均厚は事前調査により設定。

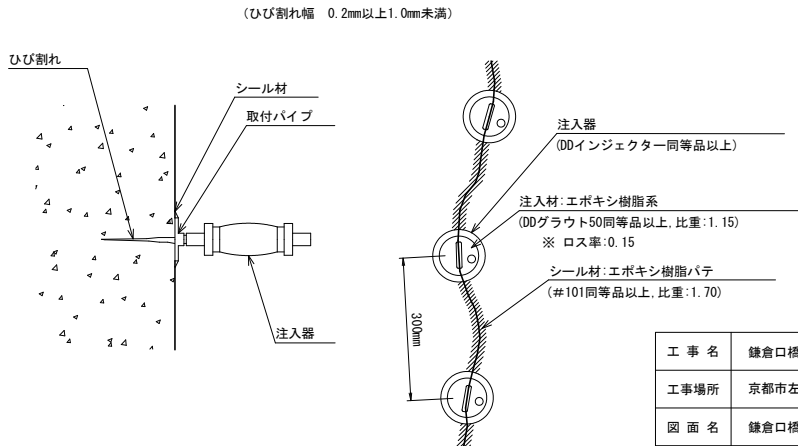
添え筋修復工詳細図



※注意事項

- 断面修復ははつり深さは、現地のコンクリート劣化状況により決定すること。
- 断面修復面積は、コンクリートの劣化状況により決定するものとし現地に確認すること。
- 断面修復の平均厚決定について
断面修復の平均厚の決定は、施工完了後の空袋・充袋の数量により決定すること。
空袋・充袋については、監督職員の了承を得ること。
- 断面修復の箇所のフェザーエッジを回避するため、コンクリートカッターで切れ目を入れること。

ひび割れ補修工(低圧注入工法)詳細図



工 事 名	鎌倉口橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市左京区花脊大布施町他地内		
図 面 名	鎌倉口橋 補修図(その4)		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	5/22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

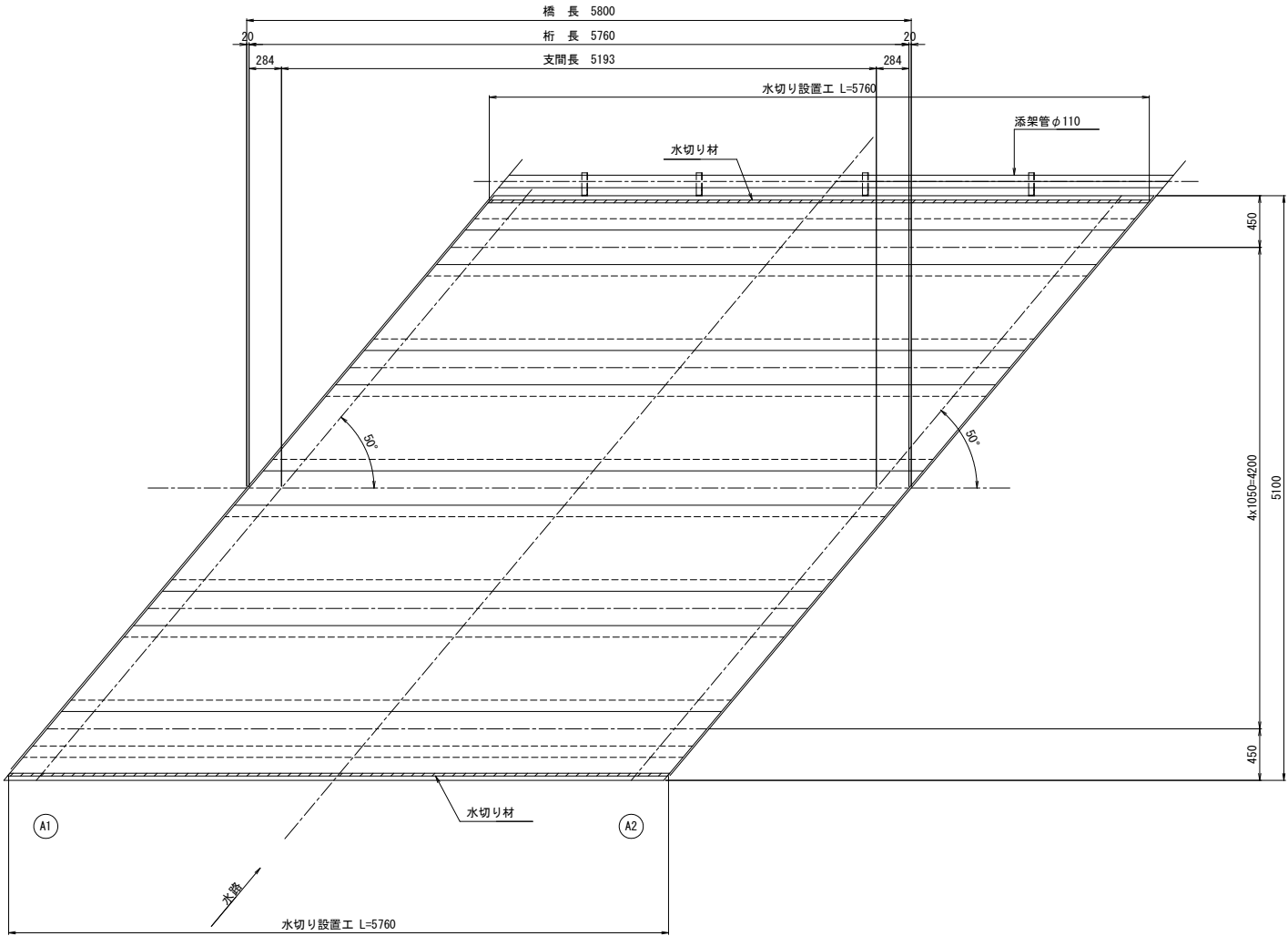
断面修復工・ひび割れ補修工 合計

工 種	種 別	仕 様	単位	数 量	備 考
ひび割れ補修工 低圧注入工法	ひび割れ延長	ひび割れ延長	m	2.0	
	注入材	エポキシ樹脂系	kg	0.036	ロス率(0.15)を含む。
	シーリング材	エポキシ樹脂パテ	kg	0.51	ロス率を含まない。
	注入器	注入器	個	8	
断面修復工 左官工法 (防錆処理有り)	断面修復体積	ポリマーセメントモルタル	m ³	0.085	
断面修復工 左官工法 (防錆処理無し)	断面修復体積	〃	m ³	0.014	

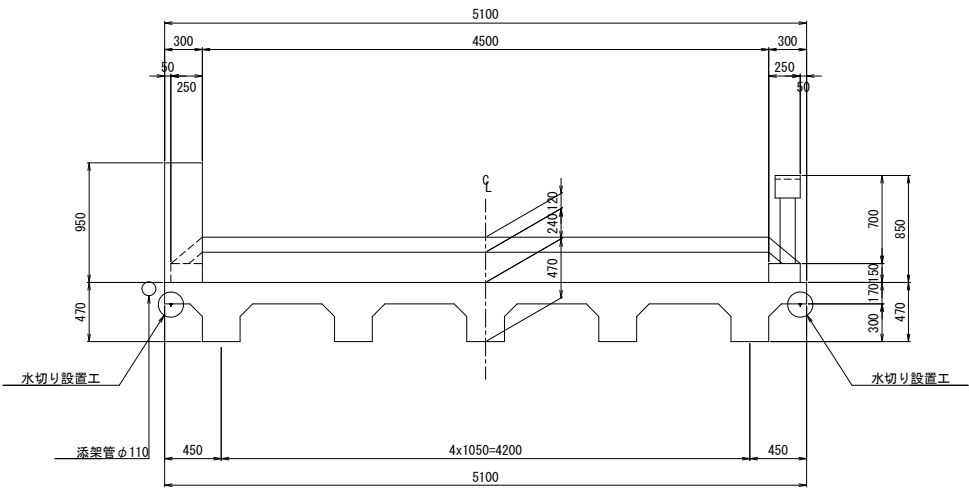
鎌倉口橋 補修図（その5）

水切り設置工

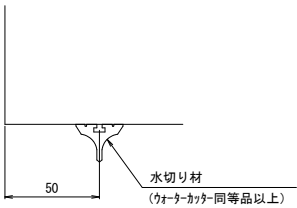
平面図 S=1:30



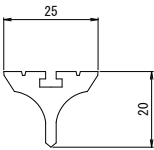
上部工断面図 S=1:30



水切り設置詳細図 S=1:2



水切り材詳細図 S=1:1



水切り設置工

(A1-A2径間)

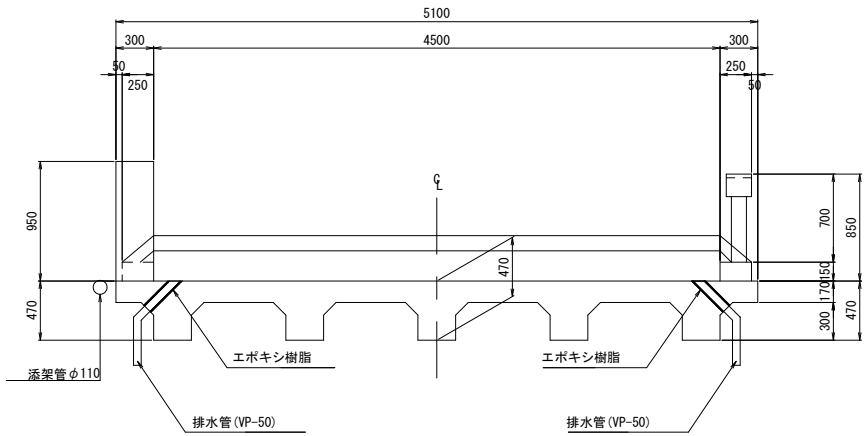
名 称	仕 様	単 位	数 量	備 考
水切り設置工	EPDM系(ウォーターカッター同等品以上)	m	11.52	

工 事 名	鎌倉口橋他 2 橋補修工事		
工事場所	京都市左京区花脊大布施町他地内		
図 面 名	鎌倉口橋 補修図（その5）		
事業年度	令和 8 年度		
縮 尺	図 示	図面番号	6/22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

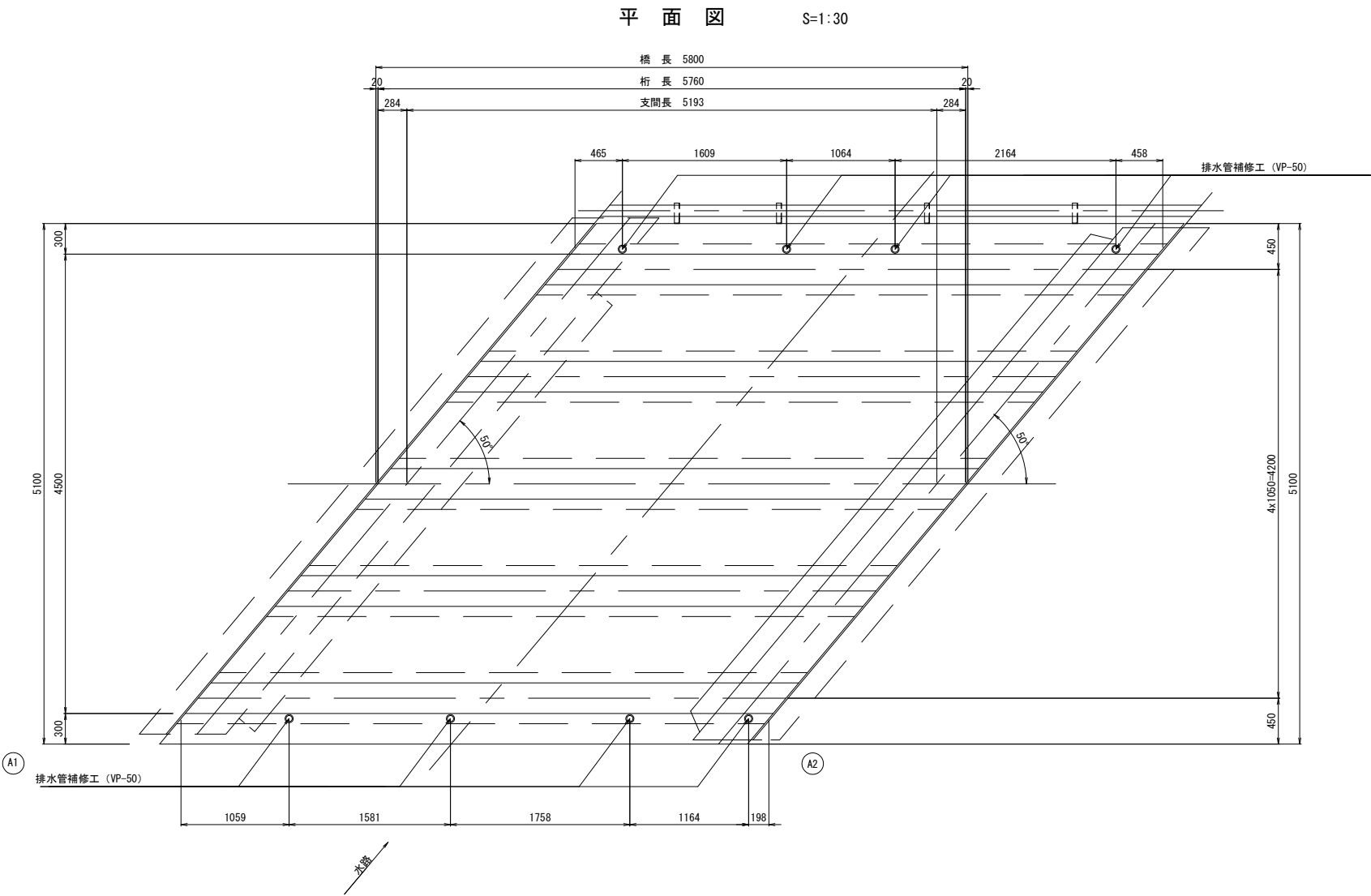
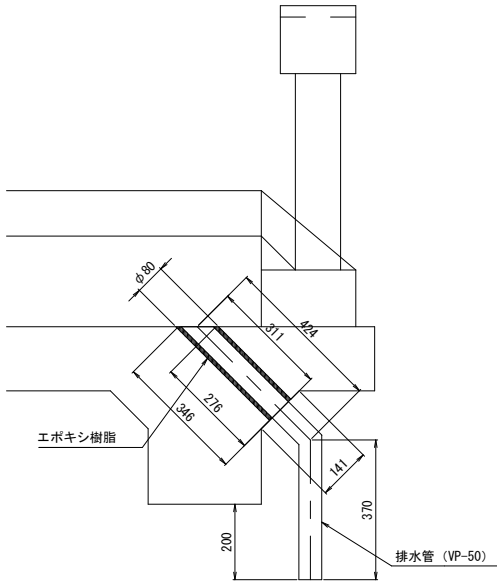
鎌倉口橋 補修図（その6）

排水施設工

上部工断面図 S=1:30



排水管補修詳細図 S=1:10



排水施設工

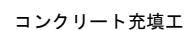
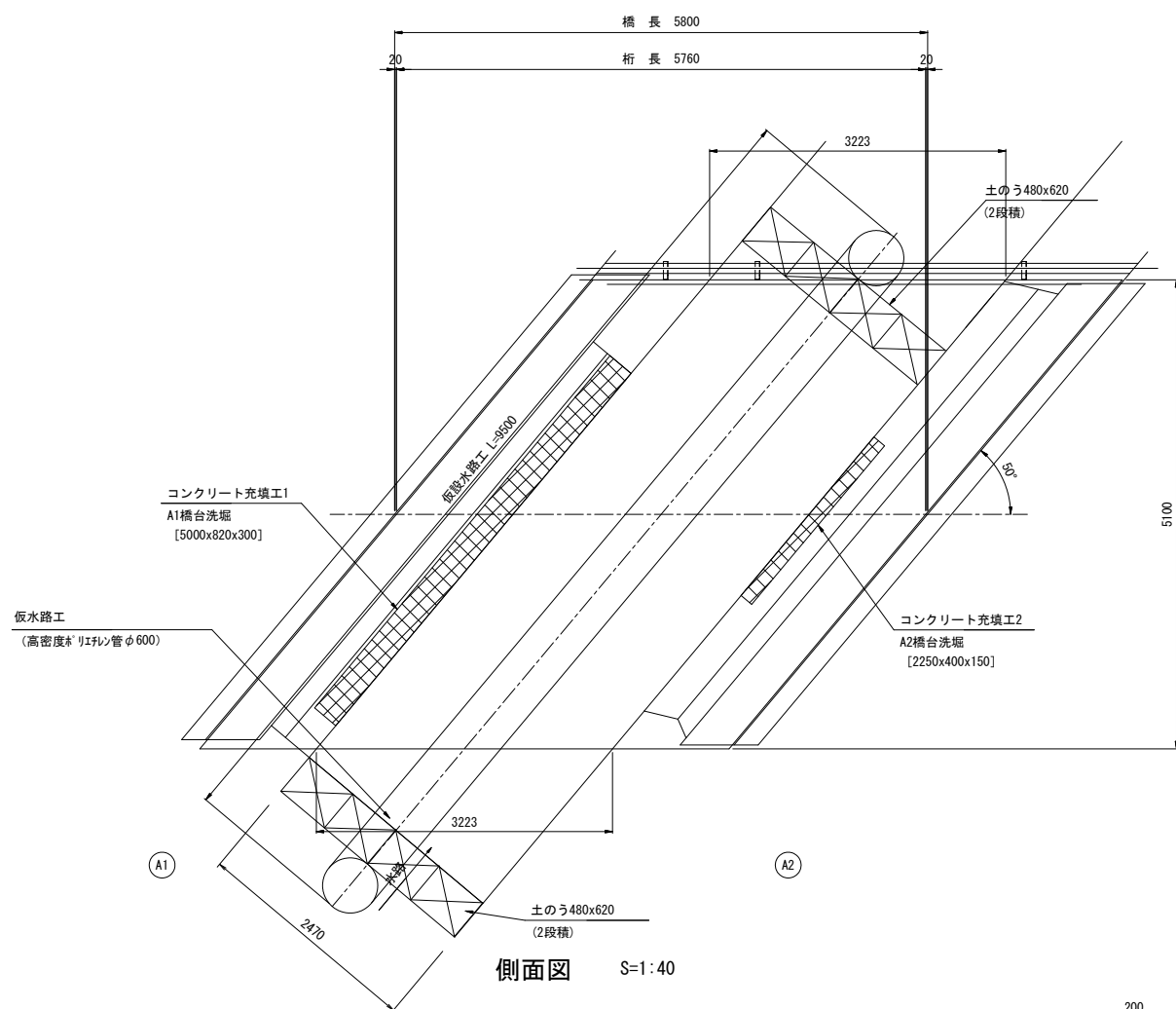
(1橋当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
排水管補修工		箇所	8	
排水管	VP-50	m	6.35	45° エルボ含む
充填工	エポキシ樹脂系注入材 w=1200kg/m3	kg	7.87	

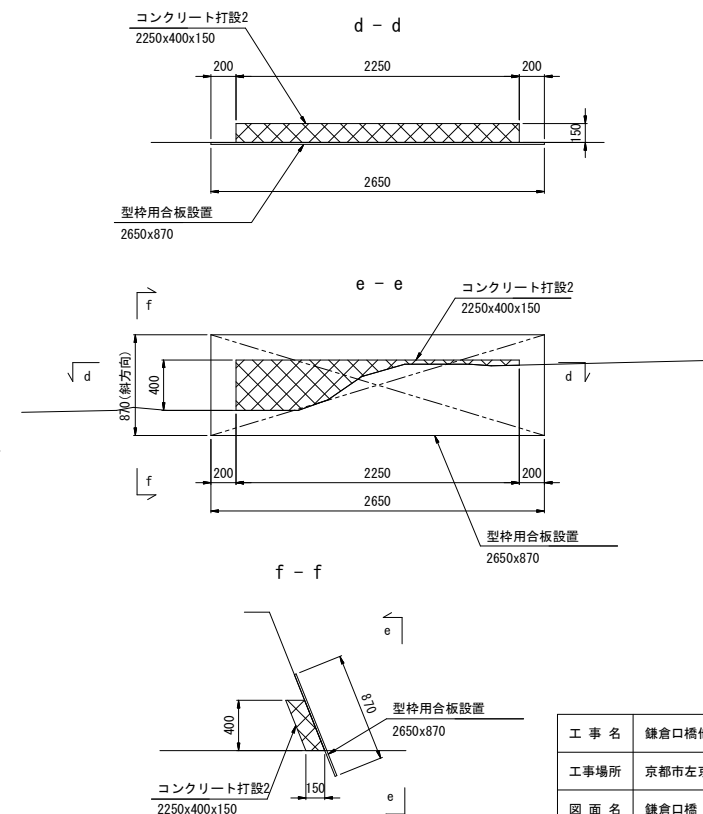
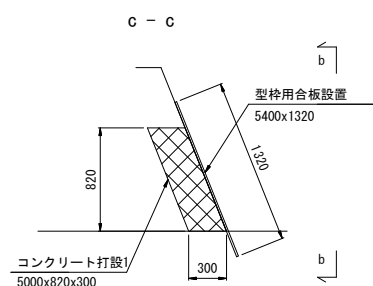
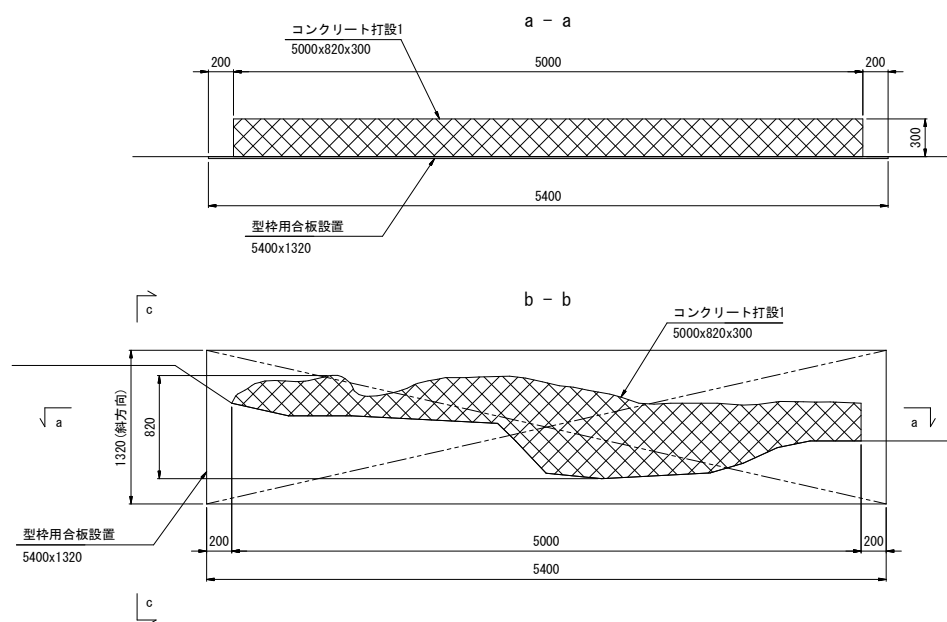
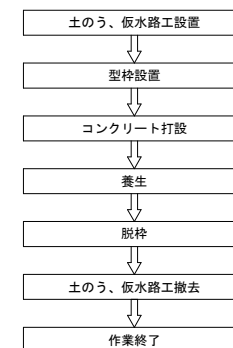
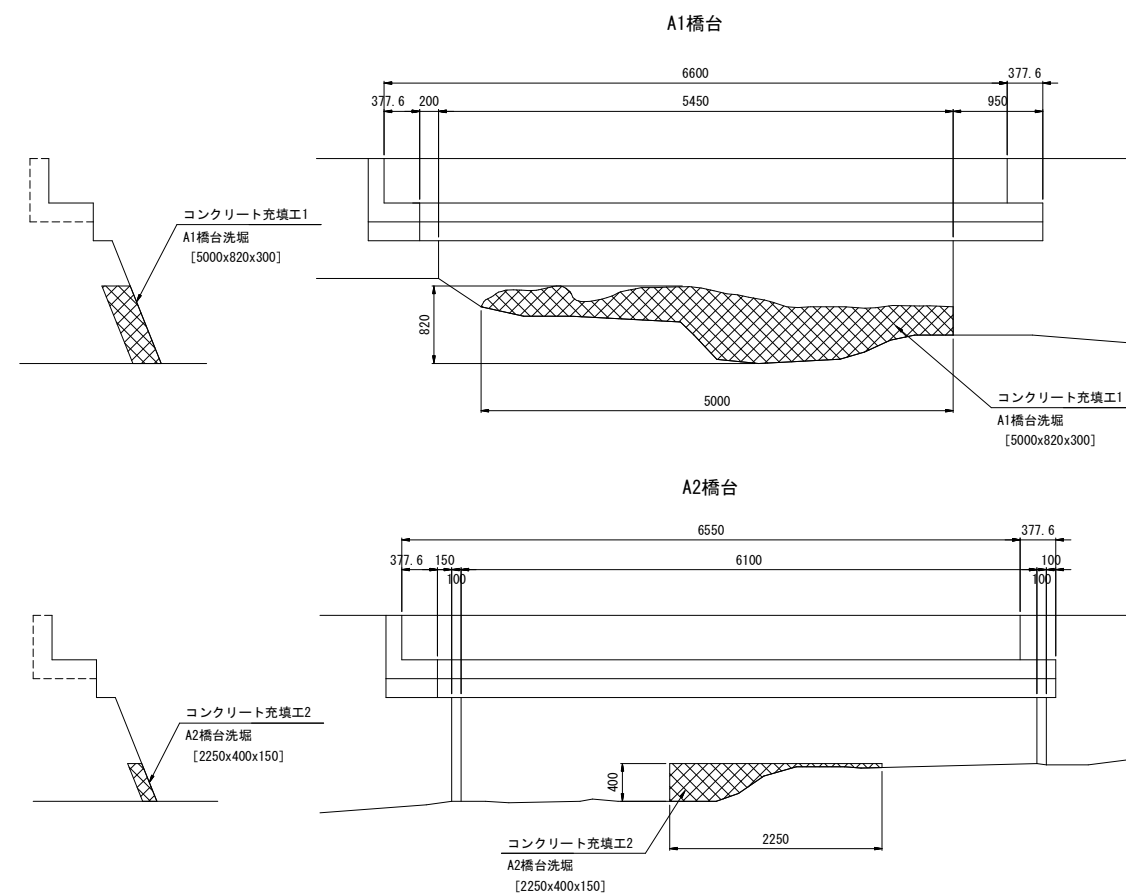
1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

工 事 名	鎌倉口橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市左京区花脊大布施町他地内		
図 面 名	鎌倉口橋 補修図（その6）		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	7/22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

コンクリート充填工
仮設水路工（参考図）



名 称	仕様・寸法	単位	数 量	備 考
仮水路工 土のう	480 (B) x620 (L)	袋	20	中詰土：購入土 (0.02m ³ /袋)
仮水路工 仮水路	高密度ポリエチレン管φ600	m	9.50	シングル管
型 枠	一般型枠	m ²	7.13	A1側
		m ²	2.31	A2側
コンクリート打設	コンクリート規格：18-8-25 (20) 高炉	m ³	1.23	A1側
		m ³	0.14	A2側



※コンクリート充填工のコンクリート打設口は、
現場状況を確認のうえ、工夫して施工を行うこと。

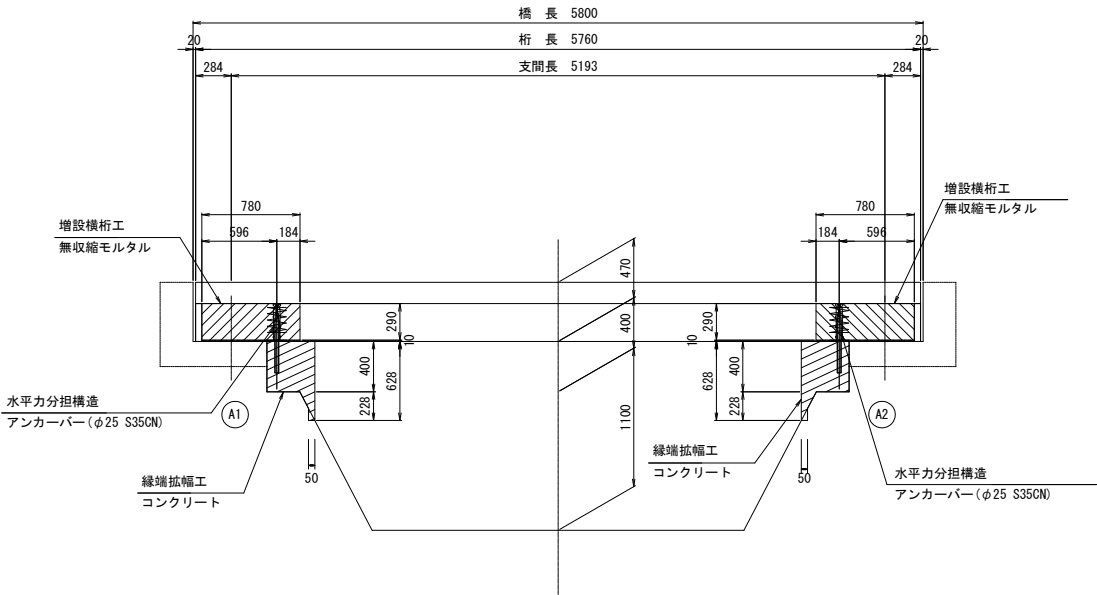
工 事 名	鎌倉口橋他 2 橋補修工事		
工事場所	京都市左京区大谷大井施町他地内		
図 面 名	鎌倉口橋 補修図 (その7)		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	8/22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

鎌倉口橋 耐震補強一般図

S=1:30

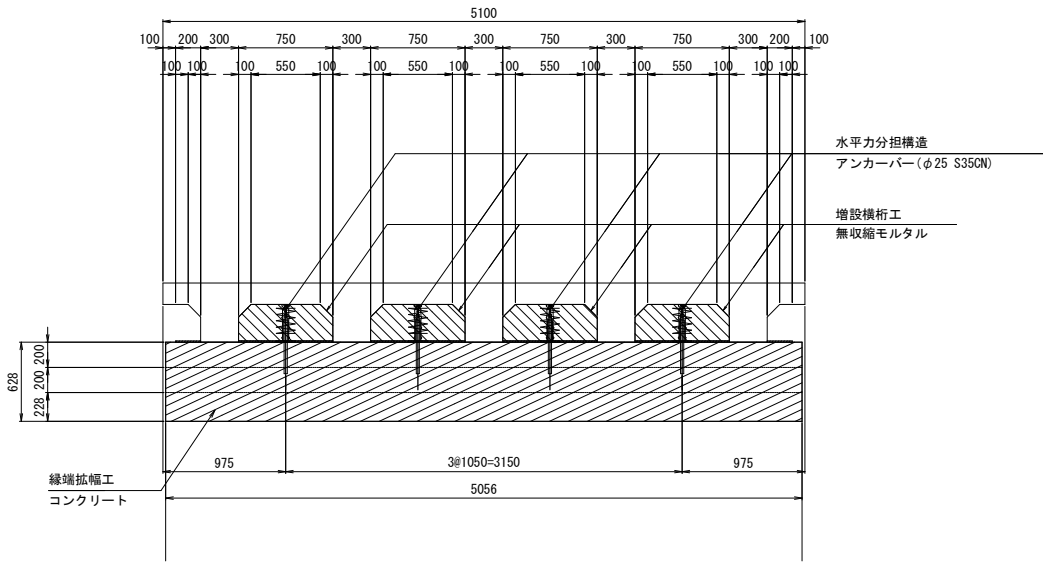
側面図

1-1

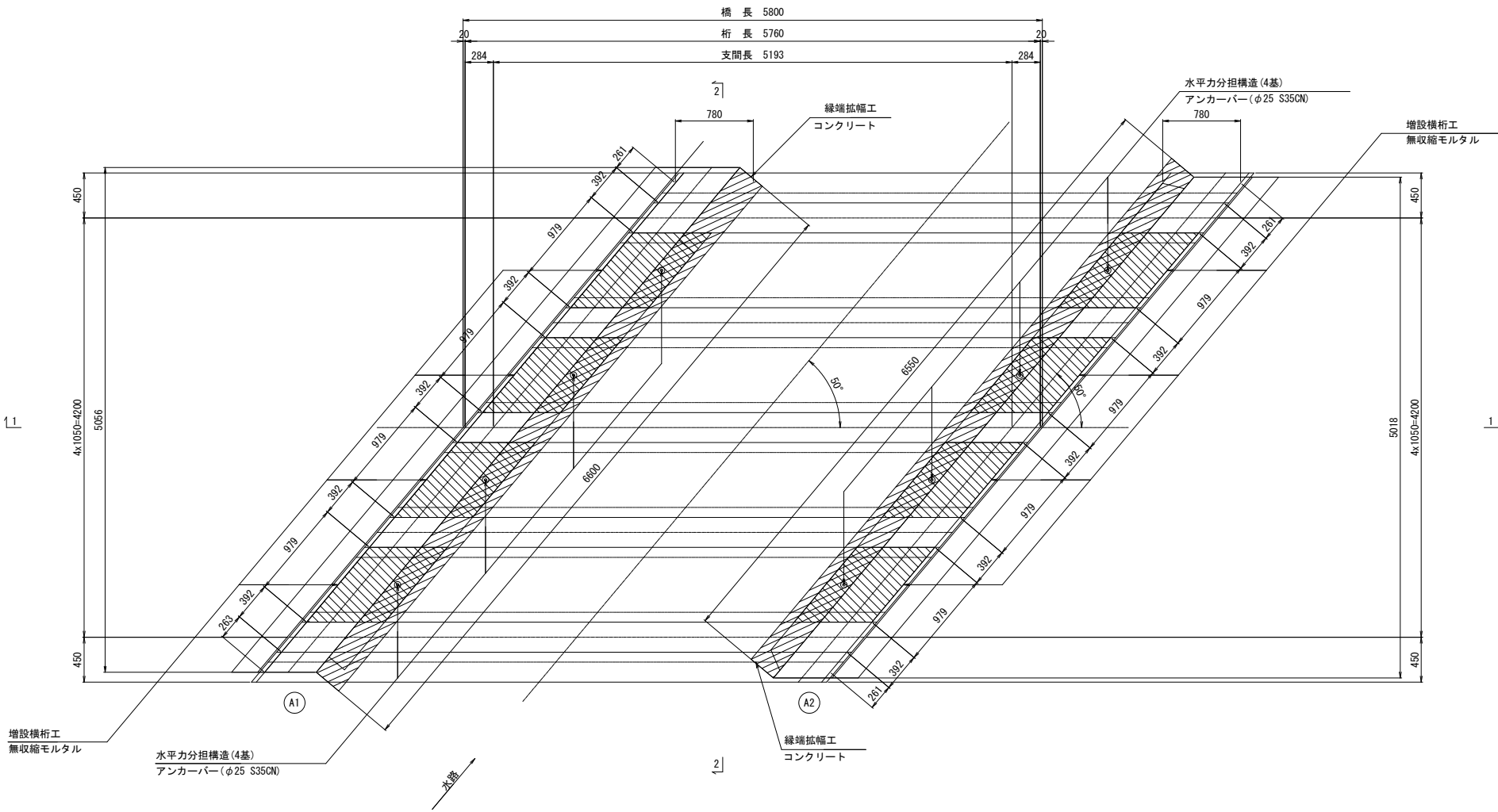


断面図

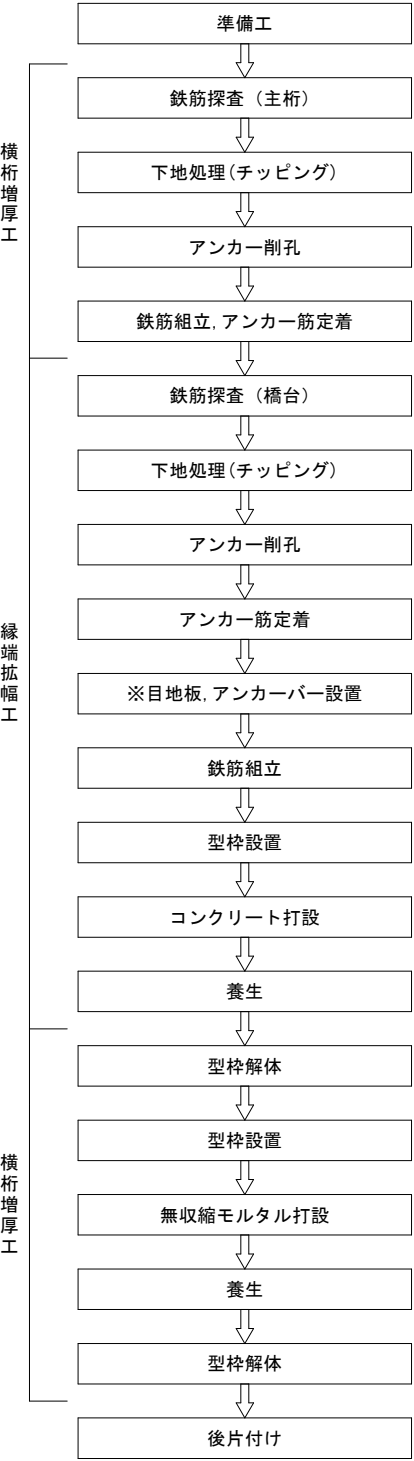
2-2



平面図



施工フロー



※水平力分担構造設置工として、目地板にアンカーバーを差しこんだ状態で設置する。

耐震補強箇所一覧表

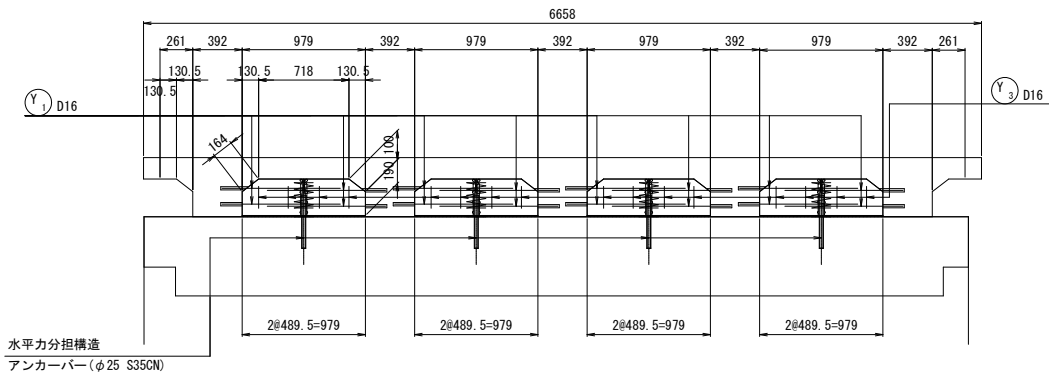
部材		耐震補強工法
下部構造	A1橋台	水平力分担構造(アンカーバーφ25(S35CN)×4基)
		横桁増厚工(無収縮モルタル)
		緑端拡幅工(コンクリート)
	A2橋台	水平力分担構造(アンカーバーφ25(S35CN)×4基)
		横桁増厚工(無収縮モルタル)
		緑端拡幅工(コンクリート)

工事名	鎌倉口橋2橋補修工事		
工事場所	京都市左京区花脊大布施町他地内		
図面名	鎌倉口橋 耐震補強一般図		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	9/22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

S=1:30

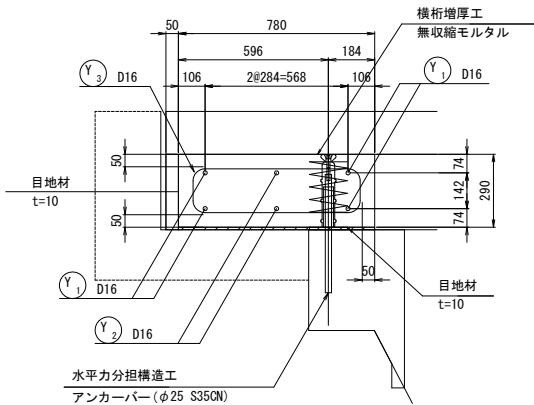
正面図

A2橋台
2-2

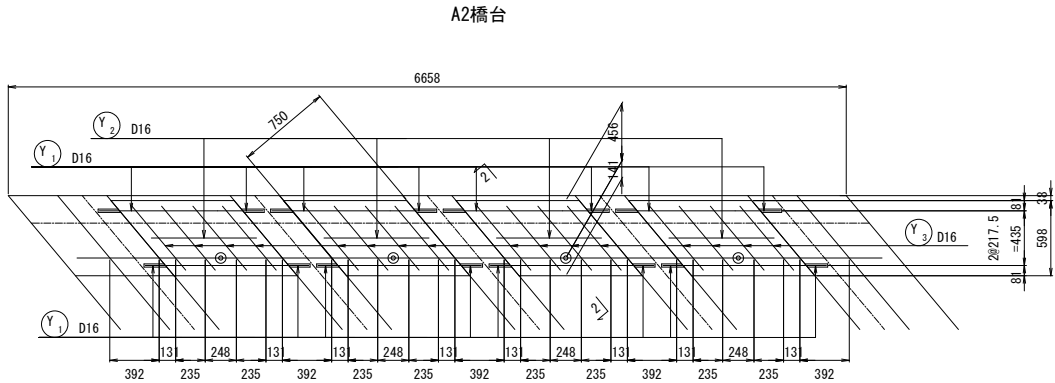


S=1:15

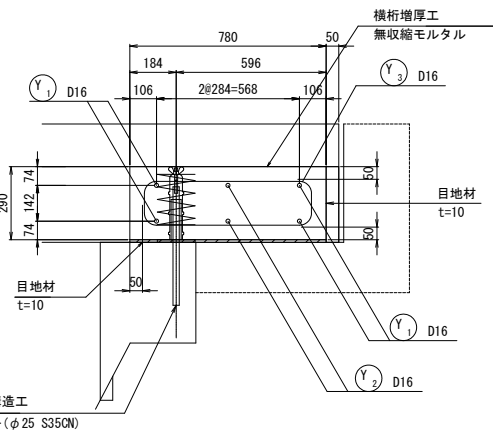
1-1 (A1橋台)



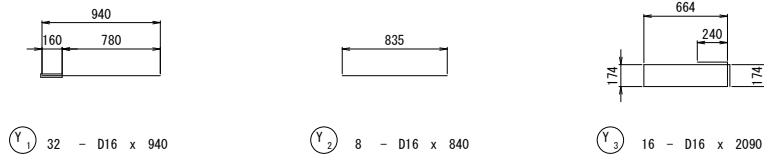
A2橋台



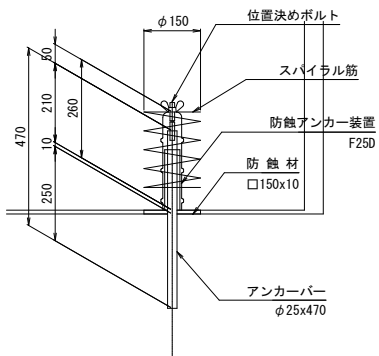
2-2 (A2橋台)



(1橋台あたり)



S=1:10



水平力分担構造工 材料表

名 称	寸 法	材 質	単位	数 量			備 考
				A1	A2	合計	
ST式防熱7カ装置α同等品以上	F25D	S35GN ポリエチレン 合成ゴム SR235 FQD450	組	4	4	8	ST-SGN12.位置決めボルト含む
防 熱 材	□150x20	CRスポンジ	枚	4	4	8	

※ 防蝕アンカーのアンカーバー本体は、ST-SGN12とする。

横桁増厚工 鉄筋表

記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1 本 当 り 質 量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
A1, A2橋台共通							
Y1	D16	940	32	1.56	1.47	47	— (アンカー筋)
Y2	D16	840	8	1.56	1.31	10	—
Y3	D16	2090	16	1.56	3.26	52	≡
SD345				D16	109 kg		
				合計	109 kg		
削孔 φ26 (L=170)					16	箇所	(横向き)
削孔 φ26 (L=200)					8	箇所	(横向き)
削孔 φ26 (L=221)					8	箇所	(横向き)

横桁増厚工 数量表

細 別	規 格	単 位	数 量	摘 要
鉄筋探査工	横向き	m2	1.08	レーダー探査
チップング	t=20mm以下	m2	5.01	
アカ-筋挿入	D16	本	32.0	
注入材	エポキシ樹脂系	kg	2.88	収率：+0.16含む
型 枠	一般型枠	m2	1.08	
無収縮モルタル	fc=21N/mm2	m3	0.65	
目地版	t=10mm	m2	3.42	

注) 1. 施工は鉄筋位置調査のうえ、既設鉄筋を避けて実施すること。

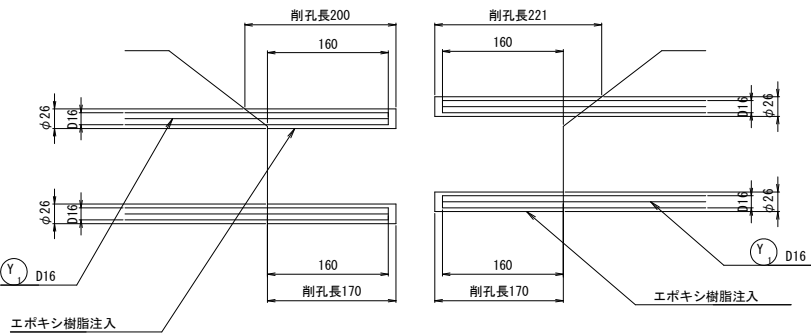
2. 鉄筋の材質はSD345とする。

3. 無収縮モルタルの設計基準強度は21N/mm²とする。

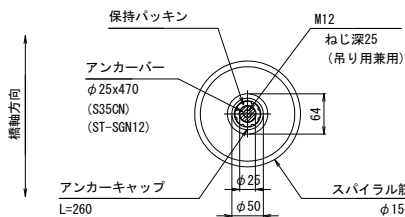
4. 施工にあたっては、現地測量を行い、既設構造物の寸法等を確認すること。

5. 無収縮モルタルの打設口は、現場状況を確認のうえ、工夫して施工すること。

S=1:5



S=1 : 6



工 事 名	鎌倉口橋 2 橋補修工事		
工事場所	京都市左京区花脊大布町他地内		
図 面 名	鎌倉口橋 耐震補強詳細図(その1)		
事業年度	令和 8 年度		
縮 尺	図 示	図面番号	10/22
京都市建設局土木管理部橋りよう健全推進課			

鎌倉口橋 耐震補強詳細図(その2)

S=1:30

縁端拡幅工

正面図

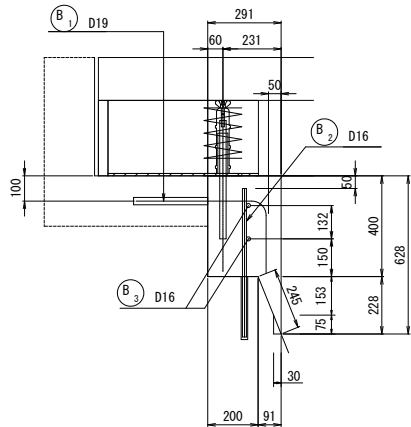
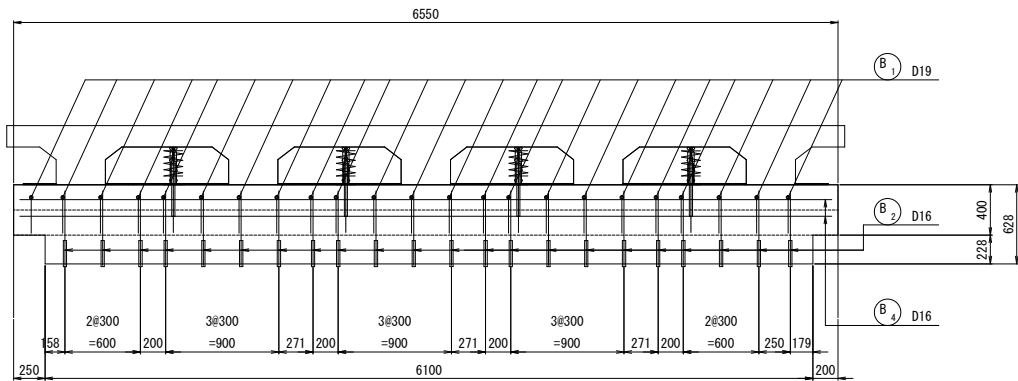
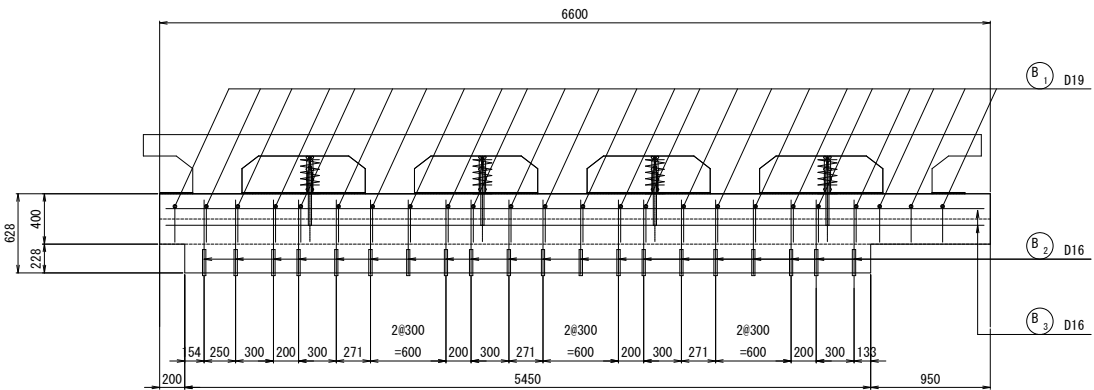
A1橋台
1-1

A2橋台
2-2

かぶり詳細図

S=1:15

1-1 (A1橋台)

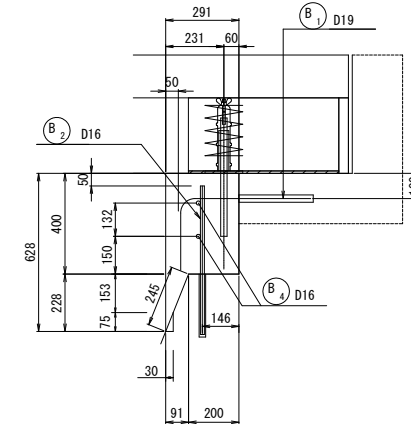
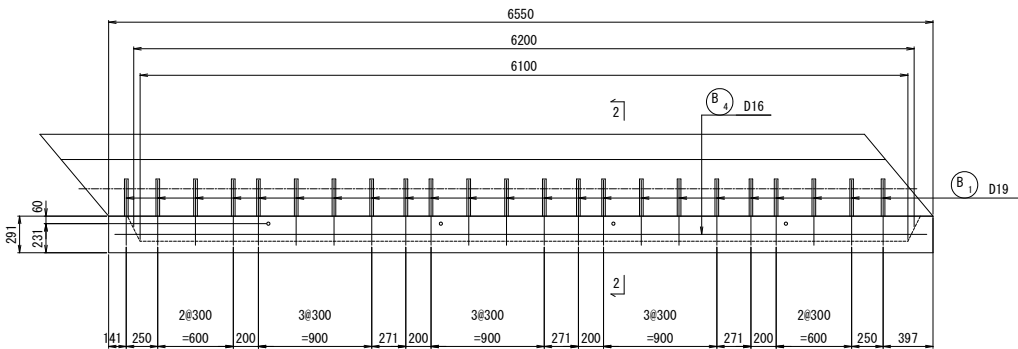
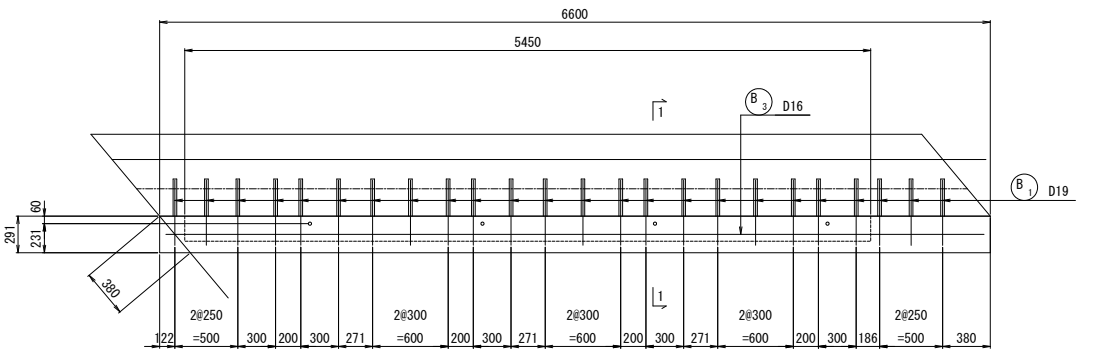


平面図

A1橋台

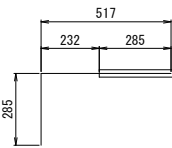
A2橋台

2-2 (A2橋台)



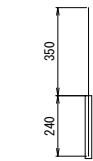
鉄筋加工図

S=1:15



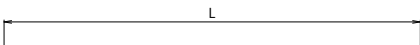
A1橋台
B₂ 24 - D19 x 810

A2橋台
B₁ 23 - D19 x 810



A1橋台
B₂ 20 - D16 x 590

A2橋台
B₃ 22 - D16 x 590



A1橋台
B₃ 2 - D16 x 6500

A2橋台
B₄ 2 - D16 x 6450

A1橋台 鉄筋表

(1橋台当り)

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
A1橋台							
B1	D19	810	24	2.25	1.82	44	(アンカー筋)
B2	D16	590	20	1.56	0.92	18	(アンカー筋)
B3	D16	6500	2	1.56	10.1	20	
				SD345	D19	44 kg	(アンカー筋)
					D16	38 kg	(アンカー筋含む)
				合計		82 kg	
				削孔 φ29 (L=295)	24	箇所	
				削孔 φ26 (L=250)	20	箇所	

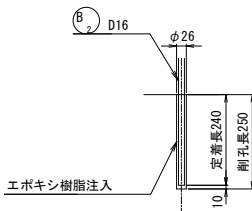
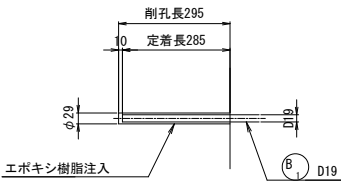
A2橋台 鉄筋表

(1橋台当り)

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
A2橋台							
B1	D19	810	23	2.25	1.82	42	(アンカー筋)
B2	D16	590	22	1.56	0.92	20	(アンカー筋)
B4	D16	6450	2	1.56	10.1	20	
				SD345	D19	42 kg	(アンカー筋)
					D16	40 kg	(アンカー筋含む)
				合計		82 kg	
				削孔 φ29 (L=295)	23	箇所	
				削孔 φ26 (L=250)	22	箇所	

アンカー定着部詳細図

S=1:10



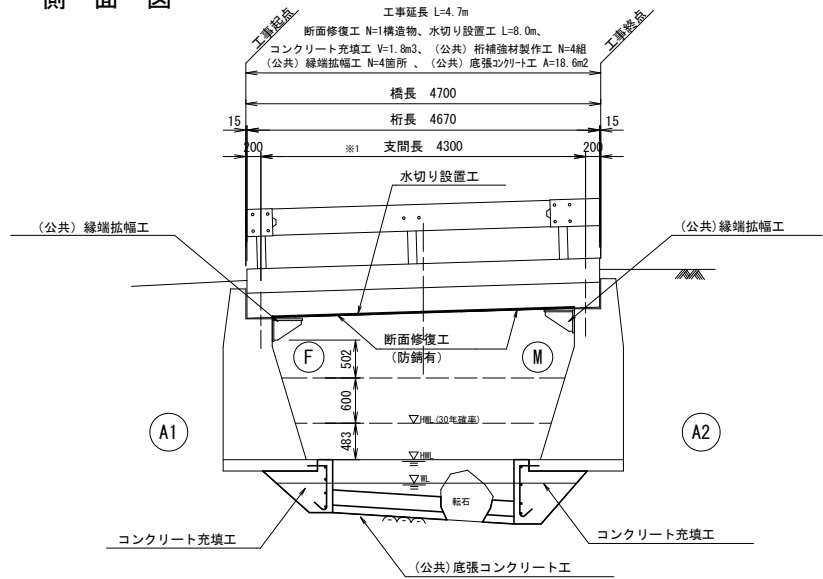
- 注) 1. 施工は鉄筋位置調査のうえ、既設鉄筋を避けて実施すること。
2. 鉄筋の材質はSD345とする。
3. コンクリートの設計基準強度は24N/mm²とする。
4. 施工にあたっては、現地測量を行い、既設構造物の寸法等を確認すること。

工事名	鎌倉口橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市左京区花脊大布施他地内		
図面名	鎌倉口橋 耐震補強詳細図(その2)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	11/22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

糖岳橋 補修一般図

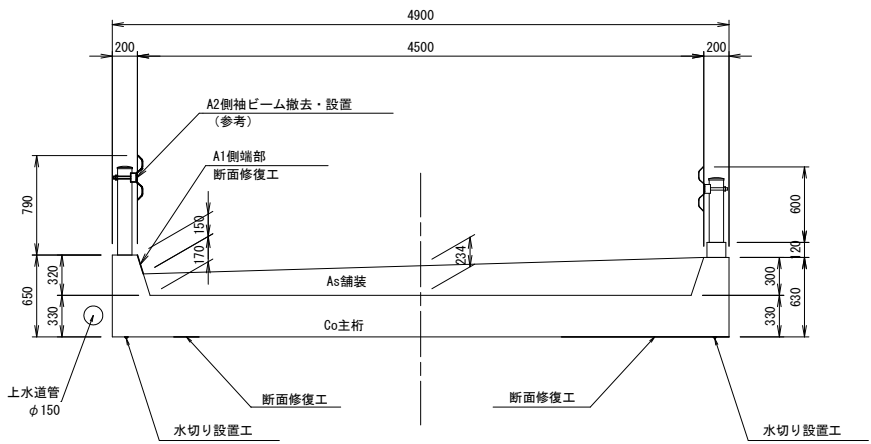
S=1:50

側面図

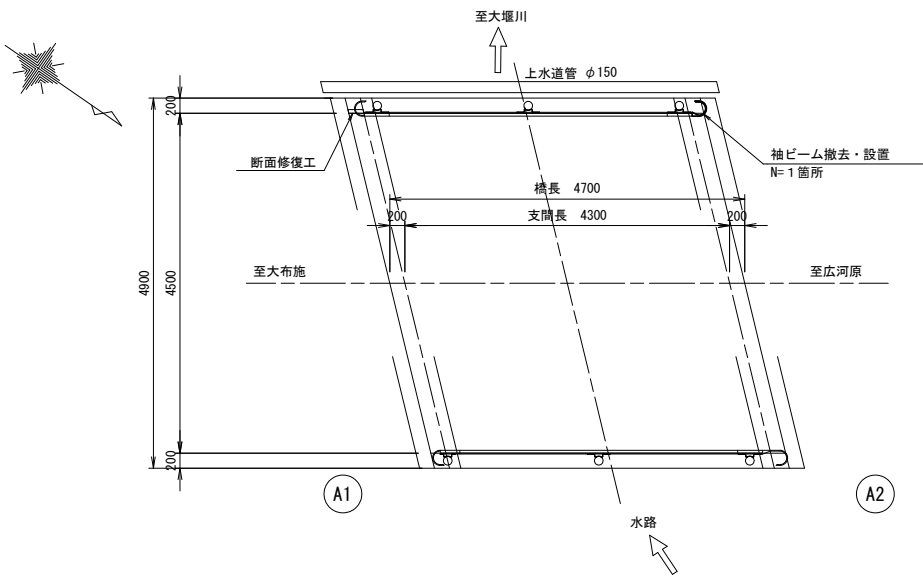


断面図

S=1:30



平面図

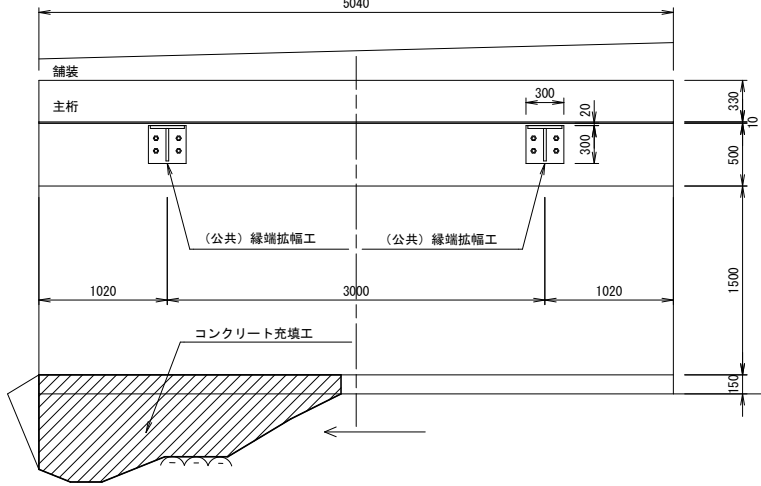
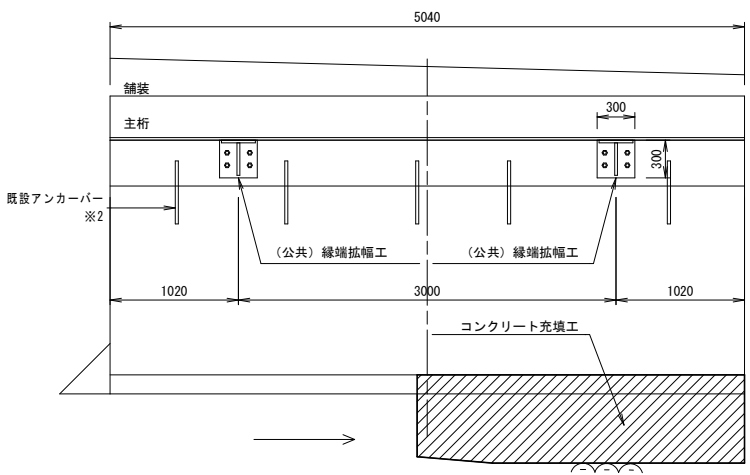


A1橋台

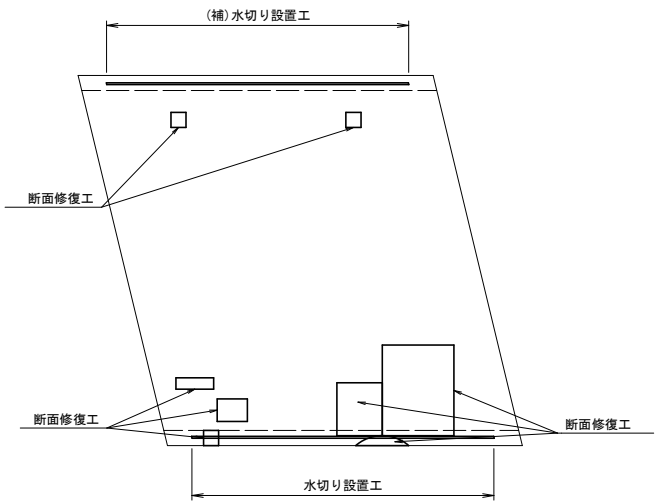
橋台正面図

S=1:30

A2橋台



桁下平面図



補修補強項目

対象部位	補修補強工種	仕様等
主桁	断面修復工、水切り設置工	ポリマーセメントモルタル、軟質PVC
地覆	断面修復工	ポリマーセメントモルタル (左地覆A1側端部のみ)
A1・A2橋台	(公共) 縁端拡幅工	鋼製ブラケット (SM400A)
A1・A2橋台基礎下	コンクリート充填工	高強度 (高流動) コンクリート48-60-25 (20) N
A1・A2橋台河床	(公共) 底張りコンクリート工	18-8-40BB
高欄 (ガードレール)	袖ビーム撤去・設置	路側用袖ビームC種 (左GrのA2側端のみ)

注記

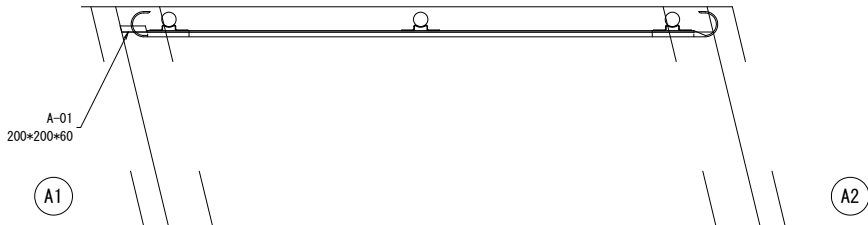
1) (公共)とは公共関連工事を示す。

工事名	鎌倉口橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市左京区花脊大布施町他地内		
図面名	糖岳橋 補修一般図		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	12/22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

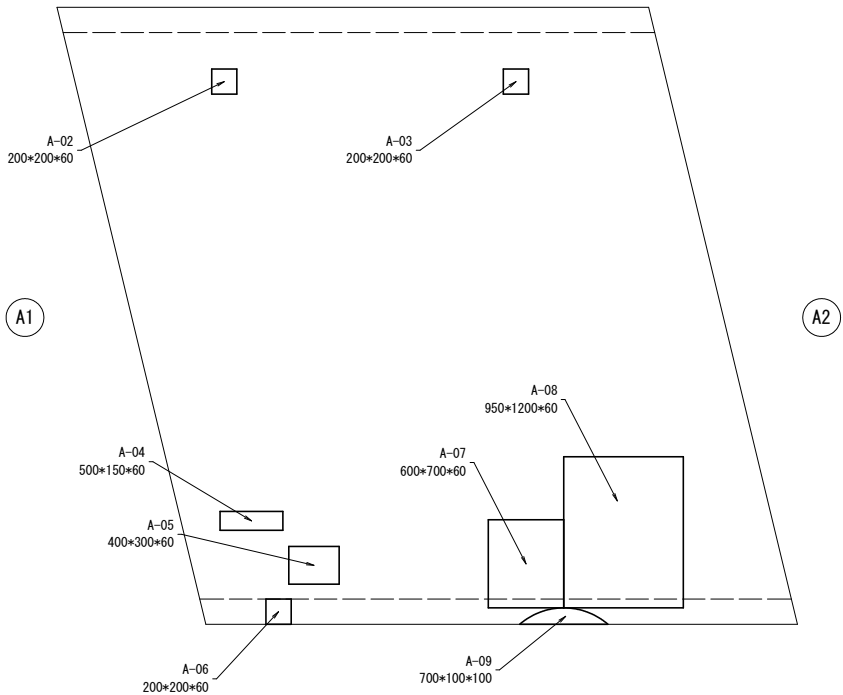
糖岳橋 補修図（その１） S=1:30

断面修復工

平面図（橋面）



平面図（桁下）



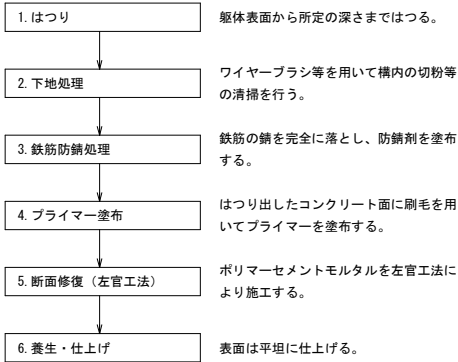
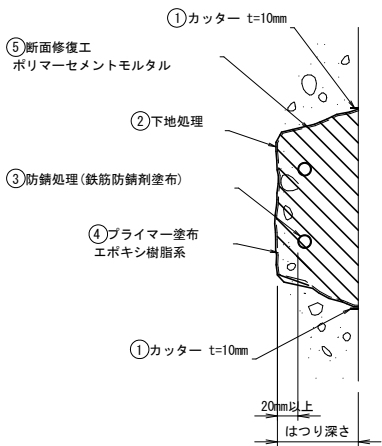
断面修復工（防錆有）数量表

No	箇所名	橋軸方向×直角方向×深さ (mm)	備考
A-01	地盤01	200×200×60	
A-02	主桁01	200×200×60	
A-03	主桁01	200×200×60	
A-04	主桁01	500×150×60	
A-05	主桁01	400×300×60	
A-06	主桁01	200×200×60	
A-07	主桁01	600×700×60	
A-08	主桁01	950×1200×60	
A-09	主桁01	700×100×100	

※調査時の剝離深さが60mm以下の場合には、はつり深さ60mmとする。

断面修復工 補修要領図

Non Scale



- ※ 注意事項
- 劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷を与えないよう周囲に深さ1cm程度、コンクリートカッターにより切断目を入念に施工する。
 - 剝離・豆板部は、うき・ぜい弱部分をはつり取り、鉄筋が見えた場合は、鉄筋防錆処理後、欠損断面を補修する。
 - 鋼材露出部は、はつり後、鉄筋の防錆処理を入念に行った後、断面補修する。
 - 断面修復材
ポリマーセメントモルタルとし、「表面保護工法 設計施工指針（案）[工法別マニュアル編]平成17年土木学会」に示す断面修復材の規格を満足するものとする。
 - はつり深さ
鉄筋のかぶりが竣工図通りであるか不明確なため、はつり深さは現地で確認のうえ変更すること。

断面修復工

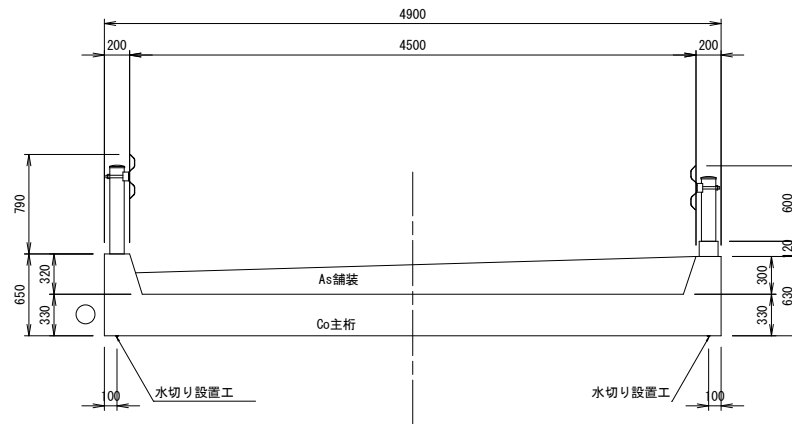
工 種	種 別	仕 様	単 位	数 量	備 考
断面修復工 左官工法 （防錆処理有り）	断面修復体積	ポリマーセメントモルタル	m3	0.12	

- 注記
- 補修範囲の寸法等を確認のうえ、施工すること。
 - はつり深さは、実際の変状深さを考慮して適宜変更すること。

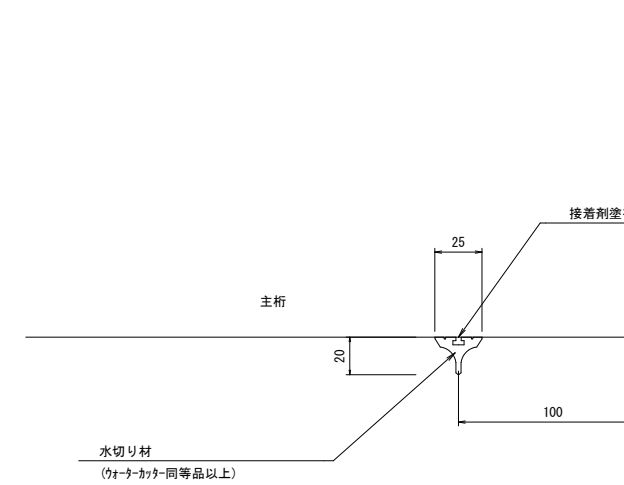
工 事 名	鎌倉口橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市左京区花脊大布施町他地内		
図 面 名	糖岳橋 補修図（その１）		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	S=1:30	図面番号	13/22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

S=1:30

側面図



S=1:2



S=1 : 1

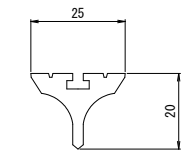


Figure 1 is a plan view of the water tank. It shows a rectangular structure with a dashed line representing the water level. The top and bottom edges are labeled "水切り設置工" (Water cutoff installation) with a length of "L=4.0m". The left and right sides are labeled "A1" and "A2" respectively.

(A1-A2径間)

名 称	仕 様	単位	数 量	備 考
水切り設置工	EPDM系(ウォーターカッター同等品以上)	m	8.0	

- 1) 既設構造物および補修範囲の寸法等を確認のうえ、施工すること。
- 2) 水切り材は、表面を清掃して設置すること。

工 事 名	鎌倉口橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市左京区花背大布施町他地内		
図 面 名	鶴岳橋 補修図（その2）		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図示	図面番号	14/22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

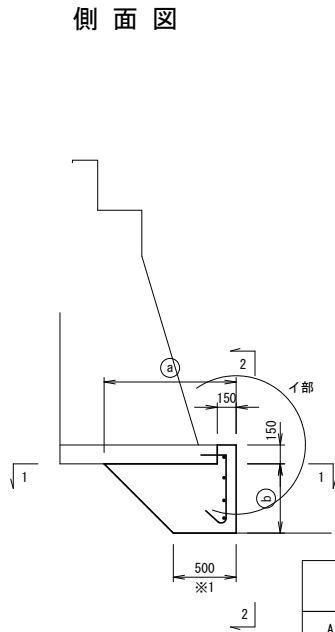
糖岳橋 補修図（その3）

コンクリート充填工

S=1:30

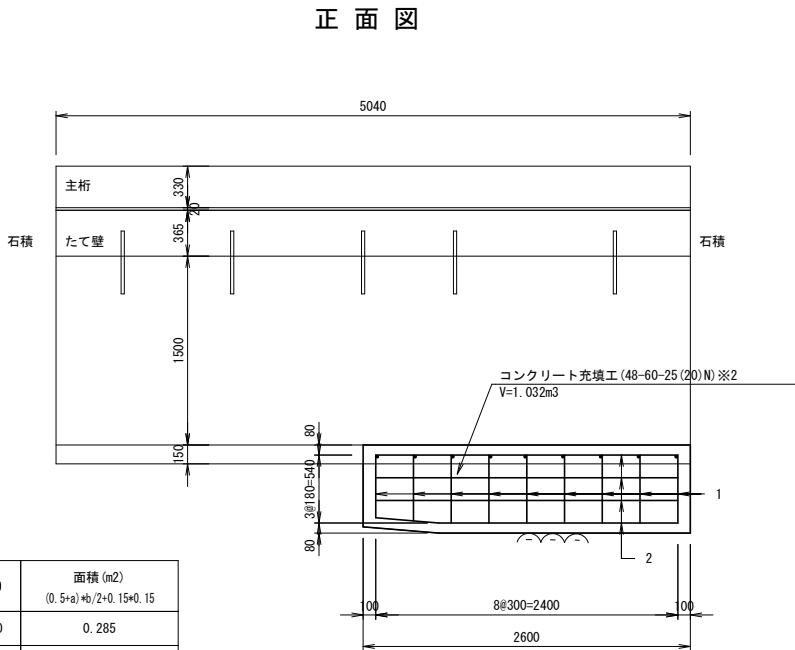
【A1橋台】

側面図

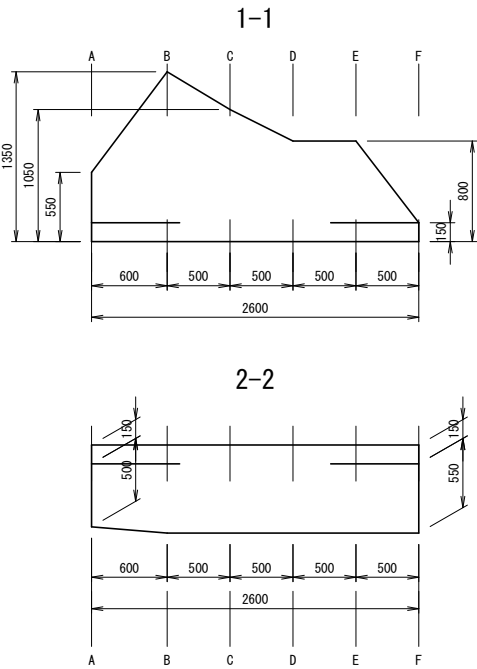


	a	b	面積 (m2) (0.5+a)×b/2+0.15×0.15
A	550	500	0.285
B	1350	550	0.531
C	1050	550	0.449
D	800	550	0.380
E	800	550	0.380
F	150	550	0.201

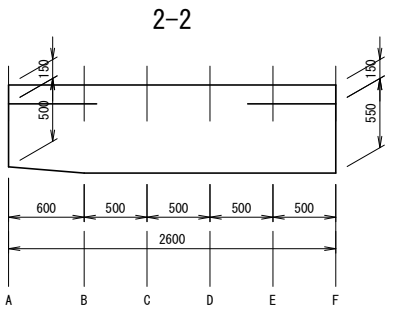
正面図



1-1

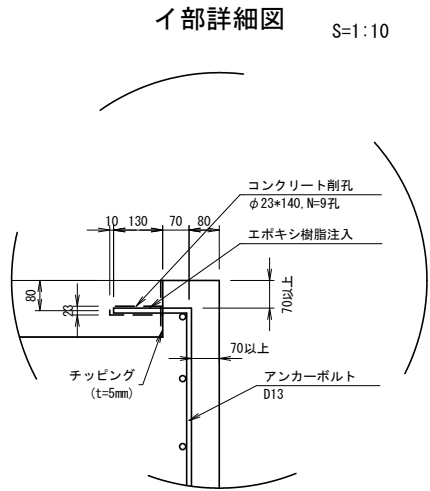


2-2

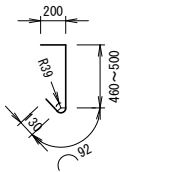


イ部詳細図

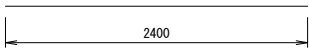
S=1:10



① 9-D13×890～930 (平均長915)



② 4-D13×2400

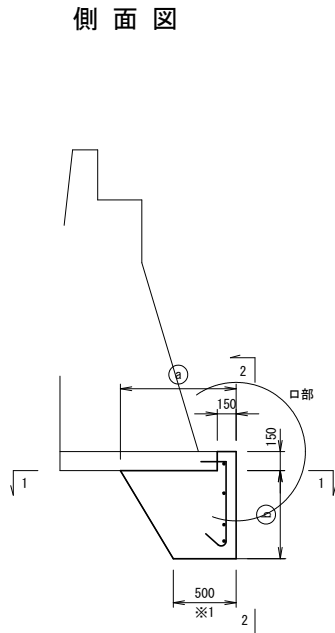


鉄筋質量表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	適用
1	D13	915 (平均)	9	0.995	0.91	8	┘
2	D13	2,400	4	0.995	2.39	10	—
				SD345	D13	合計 18	kg

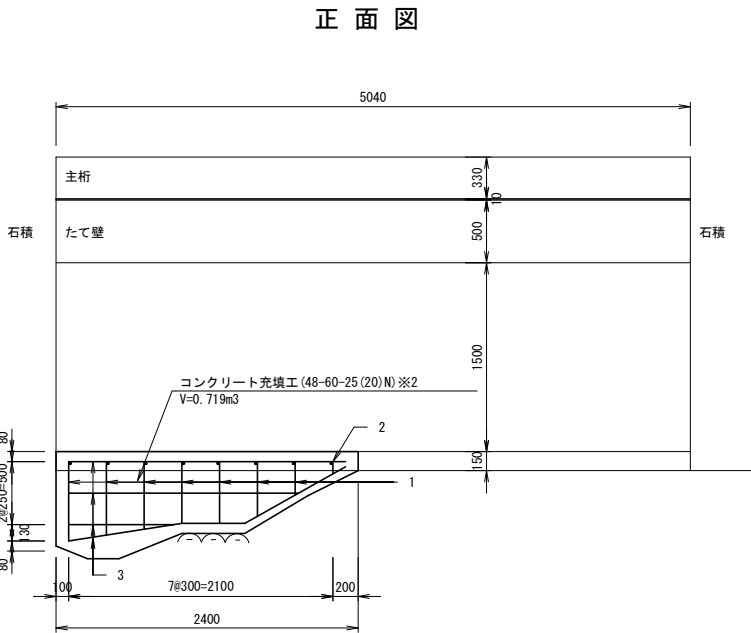
【A2橋台】

側面図

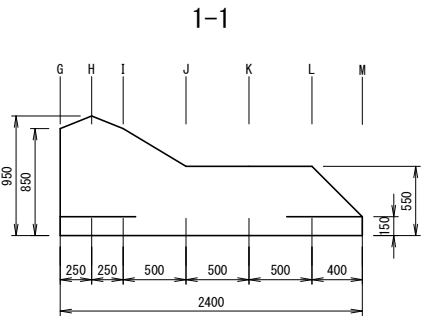


	a	b	面積 (m2) (0.5+a)×b/2+0.15×0.15
G	850	600	0.428
H	950	700	0.530
I	850	700	0.495
J	550	500	0.285
K	550	500	0.285
L	550	200	0.128
M	150	0	0.023

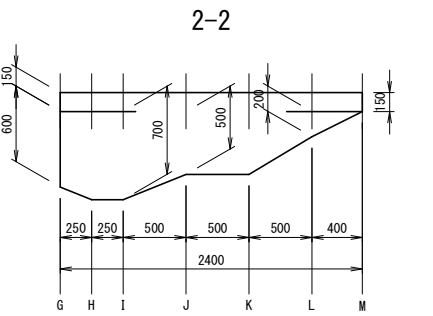
正面図



1-1

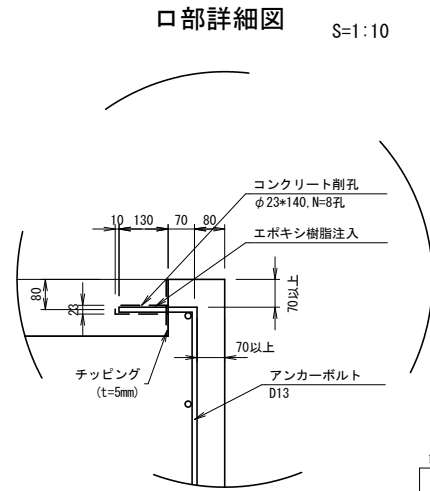


2-2

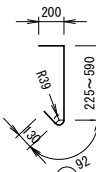


ロ部詳細図

S=1:10



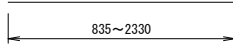
① 7-D13×650～1010 (平均長870)



② 1-D13×260



③ 4-D13×835～2330 (平均長1800)



鉄筋質量表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	適用
1	D13	870 (平均)	7	0.995	0.87	6.1	┘
2	D13	260	1	0.995	0.26	0.3	┘
3	D13	1,800 (平均)	4	0.995	1.79	7.2	—
				SD345	D13	合計 14	kg

材料表

種別	細別	規格	単位	数量		合計
				A1橋台	A2橋台	
コンクリート充填工	コンクリートはつり	t=5mm	m2	0.39	0.36	0.75
	コンクリート削孔	φ23 L=140mm	孔	9.0	8.0	17.0
	アンカー筋挿入	D13	本	9.0	8.0	17.0
	注入材	エポキシ樹脂系 (比率含む)	kg	0.9	0.8	1.7
	型枠	一般型枠	m2	2.29	1.91	4.20
	コンクリート打設	48-60-25 (20) N	m3	1.03	0.72	1.75

注記

- 1) 洗掘計上は令和6年実測寸法である。
2) 洗掘部充填CoIは、コンクリートを奥よりすき間なく充填していき、基礎前面部は型枠にCoI打設口を設けて打設する。

※1 想定寸法である。

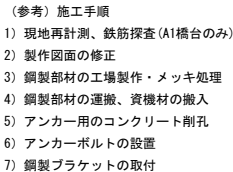
※2 洗掘部の奥行きが長い場合スランプフローの大きいコンクリートを使用する。

工事名	鎌倉口橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市左京区花脊大布施町他地内		
図面名	糖岳橋 補修図 (その3)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	15/22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

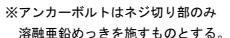
$S=1:5$

【A1・A2橋台共通】

鋼製ブラケット概要図



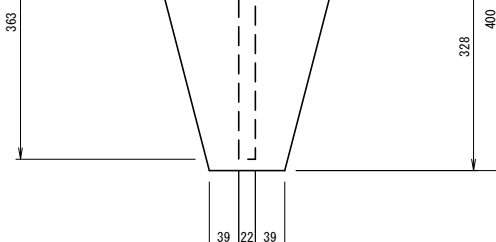
アンカーボルト詳細図 (3-3)



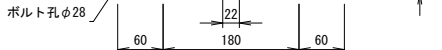
製作数=4組 (A1, A2各2組)
アンカーボルト (1組あたり8kg)
4-AncBolt D25*460 (SD345)
4-座金 M24 (SS400)
4-Nut M24 (1種、SS400)
4-Nut M24 (3種、SS400)

鋼製ブラケット詳細図

FigPL詳細図 (1-1)



BasePL詳細図 (2-2)



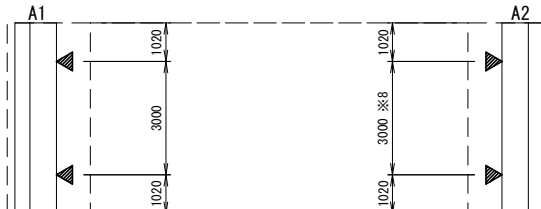
製作数=4組 (A1, A2各2組)
鋼製ブラケット (1組あたり39kg)

1-FIgLPL	270*22*378	(SM400A)	(Net:73%)
1-RibPL	363*22*258	(SM400A)	(Net:65%)
1-BasePL	300*22*300	(SM400A)	(Net:97%)

縁端拡幅工 数量:

種別	細別	規格	単位	数量		合計
				A1橋台	A2橋台	
縁端拡幅工	近接調査計測工	タイプ①	組	2.0	2.0	4.0
	鉄筋探査工	横向き、小規模	m2	0.2	0.2	0.4
	芯出し調整工	コンクリート面	m2	0.2	0.2	0.4
	コンクリート削孔	φ40、L=385mm	孔	8.0	8.0	16.0
	チップング工	t=5mm	m2	0.2	0.2	0.4
	アンカー	D25、横方向、 注入材（α率含む）	本	8.0	8.0	16.0
	部材取付工	1部材600g以下 現道上からの部材荷卸	基	2.0	2.0	4.0
	注入工 ブラケット背面	Eポ、杉樹脂、ソール材含む	m2	0.2	0.2	0.4

Non Scale



注)

2. 工事に先立って、既設構造物の形状測定を行い、寸法等を確認すること。
3. 鋼製ブラケットを設置する既設コンクリート面にはチッピングを行うこと。
4. A1橋台の削孔前には、必ず鉄筋探査を行い、鉄筋の存在を断念しなさい。
5. アンカーボルト用の削孔は、たて壁に対して直角に削孔すること。
6. 鋼製ブラケットの防食仕様はHDZ77、ボルト・ナットはHDZ749とする。
7. 縦断方向・主桁下面位置を計測して形状を整理し、設置位置を決定すること。
8. A2橋台の漏水が継続していて、鋼製ブラケットのボルト位置に干渉するようであれば200mm程度移動し設置すること。

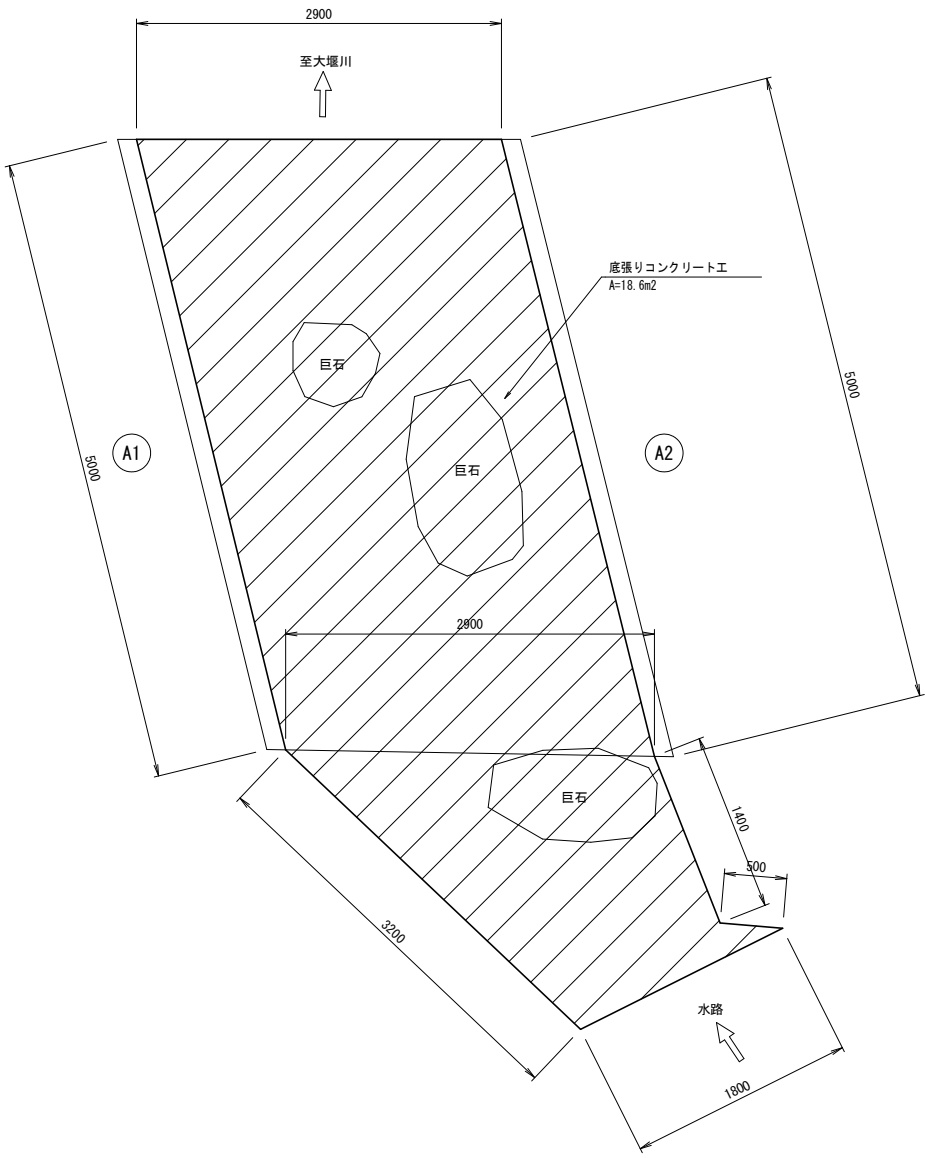
工 事 名	鎌倉口橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市左京区花脊大布施町他地内		
図 面 名	糖岳橋 補修図（その４）		
事業年度	令和８年度		
縮 尺	S=1:5	図面番号	16/22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

糖岳橋 補修図（その5）

S=1:30

（公共）底張りコンクリート工

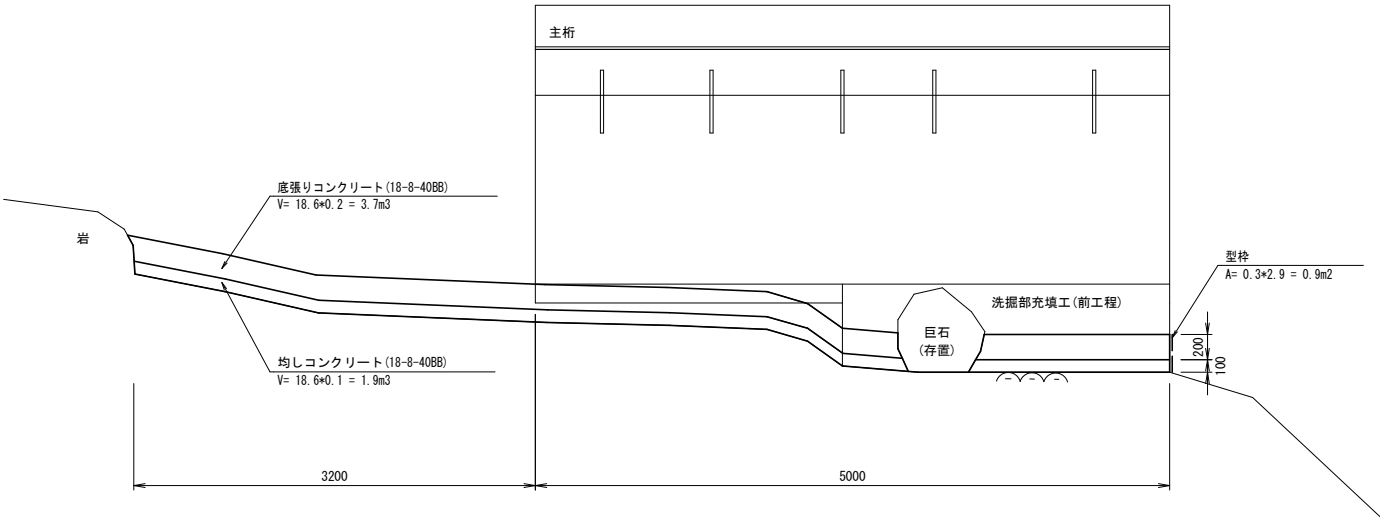
平面図



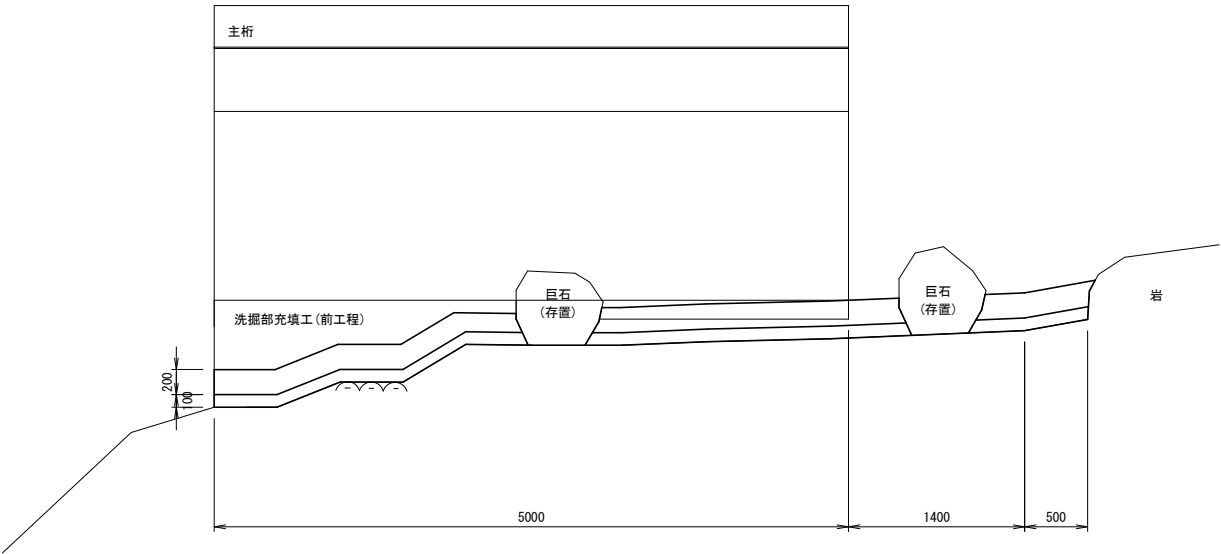
材料表（18.6m2当り）

名 称	規 格	単 位	数 量
型 枠		m2	0.9
底張りコンクリート	18-8-4088	m3	3.7
均しコンクリート	18-8-4088	m3	1.9

A1橋台（正面図）



A2橋台（正面図）

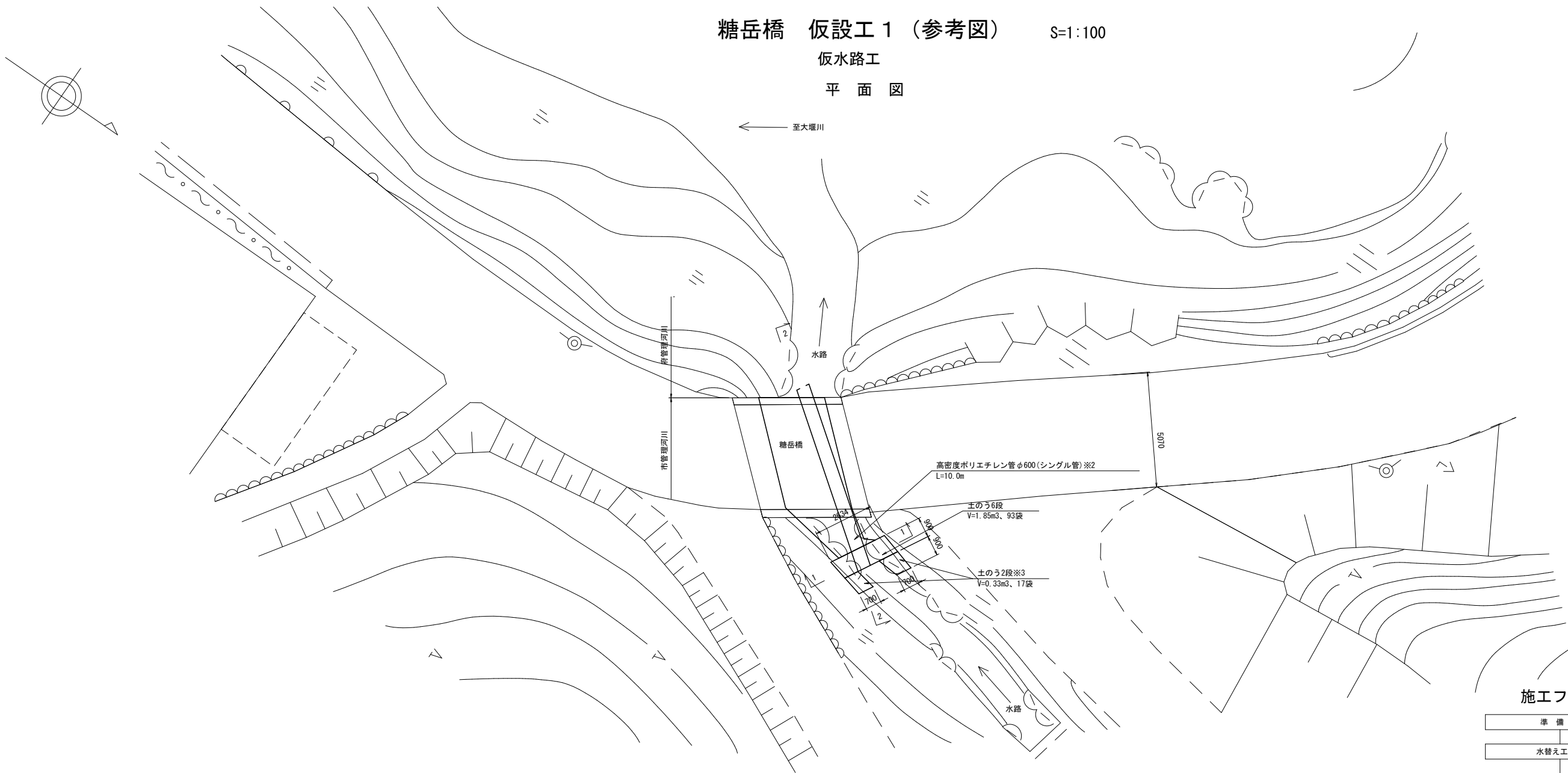


注記

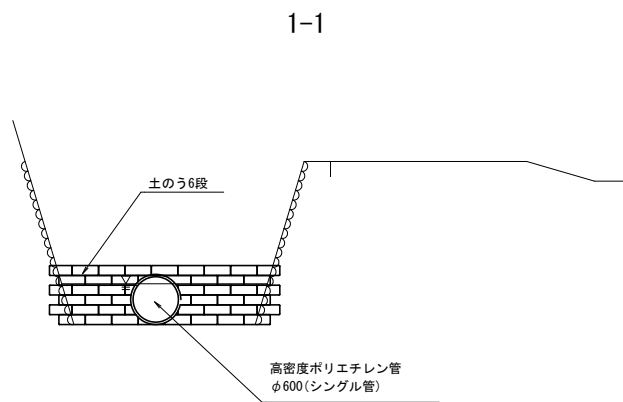
- 1) 工事前に必ず測量を行い、寸法を確認すること。
- 2) 洗掘部Co充填補修が接触する既設Co面、岩盤面は表面を清掃し、できるだけCoの付着を確保すること。
- 3) 底張りCoは河床転石のうち不安定なもの(直径50cm以下の転石など)は除去し安定しているものは除去せず存置して周囲を囲むようにCo打設する。
- 4) 巨石の形状・大きさは想定である。

工 事 名	鎌倉口橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市左京区花脊大布施町他地内		
図 面 名	糖岳橋 補修図（その5）		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	S=1:30	図面番号	17/22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

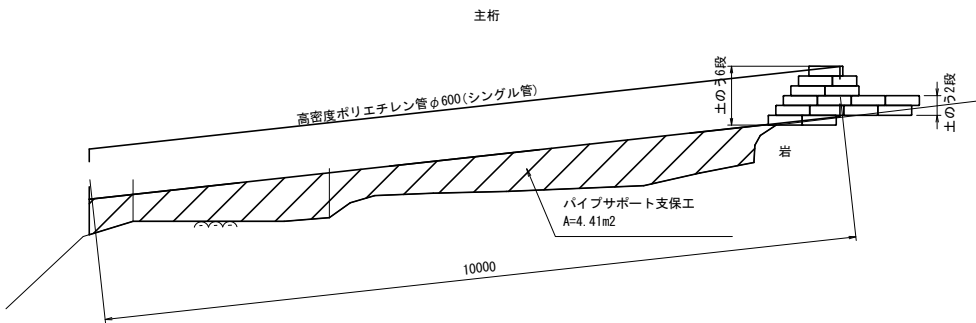
糖岳橋 仮設工 1（参考図） S=1:100
仮水路工
平 面 図



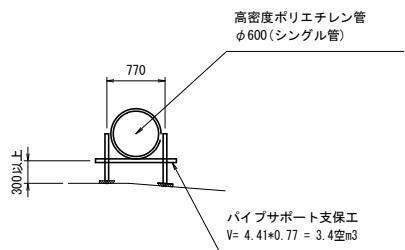
上流側締切工 S=1:50



2-2



仮設排水管据付図 S=1:50



- 注記
- 1) 本図は参考図である。構造寸法等を確認のうえ、施工すること。
 - 2) 高密度ポリエチレン管は外径の20倍程度の曲率までしか曲げられないため、河床の凹凸に合わせて単管等で支保工を設ける。
 - 3) 2段階の土のうは仮設管へ誘導するようにテーパーに据え付けること。
 - 4) 施工時流量は、6～10月の出水期を除いた水位データを基に算定している。工事の際は最新の水位データより施工時流量を確認のうえ、施工すること。

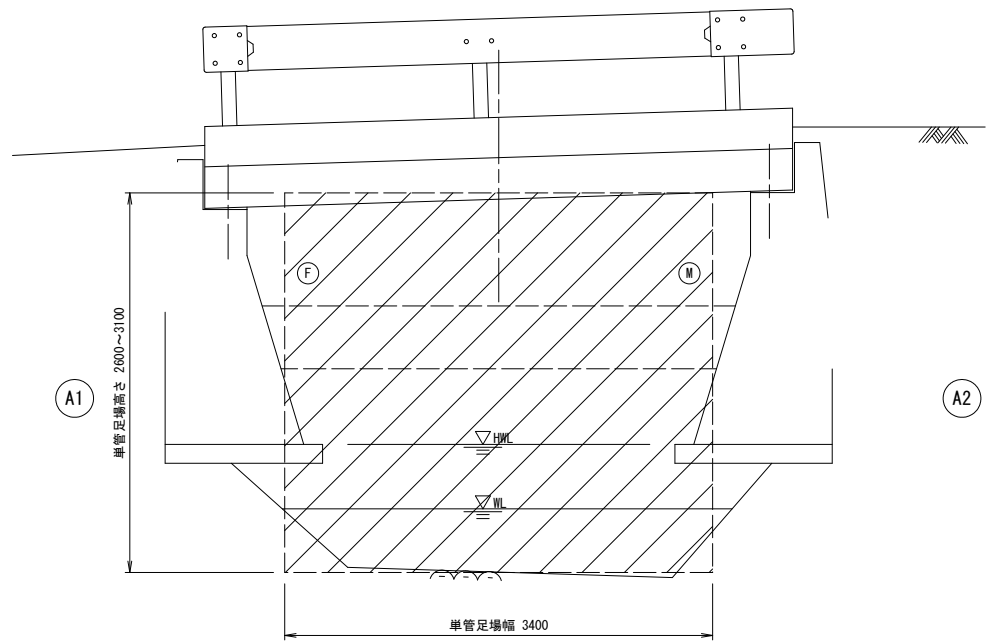
施工フロー

準備工	寸法計測・材料手配
水替え工設置	
洗掘部コンクリート充填工	
底張りコンクリート工	
水替え工撤去	
袖ビーム撤去・復旧	
単管足場の設置	
地覆 断面修復工	
主桁 断面修復工	
水切設置工	
鋼製ブラケット設置工	
単管足場の撤去	
後片付け	

工 事 名	鎌倉口橋他 2 橋補修工事		
工事場所	京都市左京区花脊大布施町他地内		
図 面 名	糖岳橋 仮設工 1（参考図）		
事業年度	令和 8 年度		
縮 尺	図 示	図面番号	18/22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

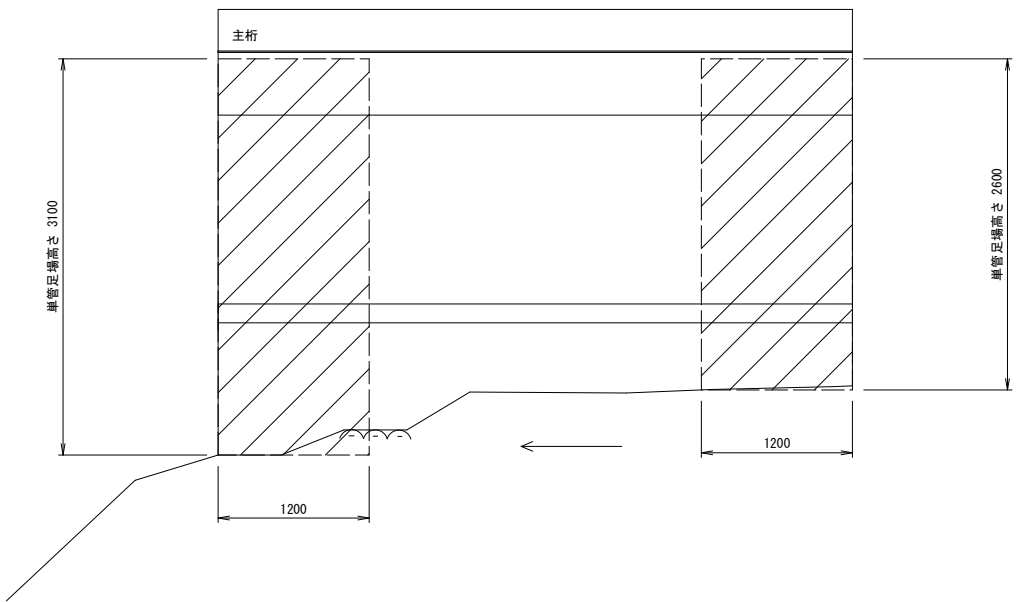
糖岳橋 仮設工 2（参考図） S=1:30

側 面 図

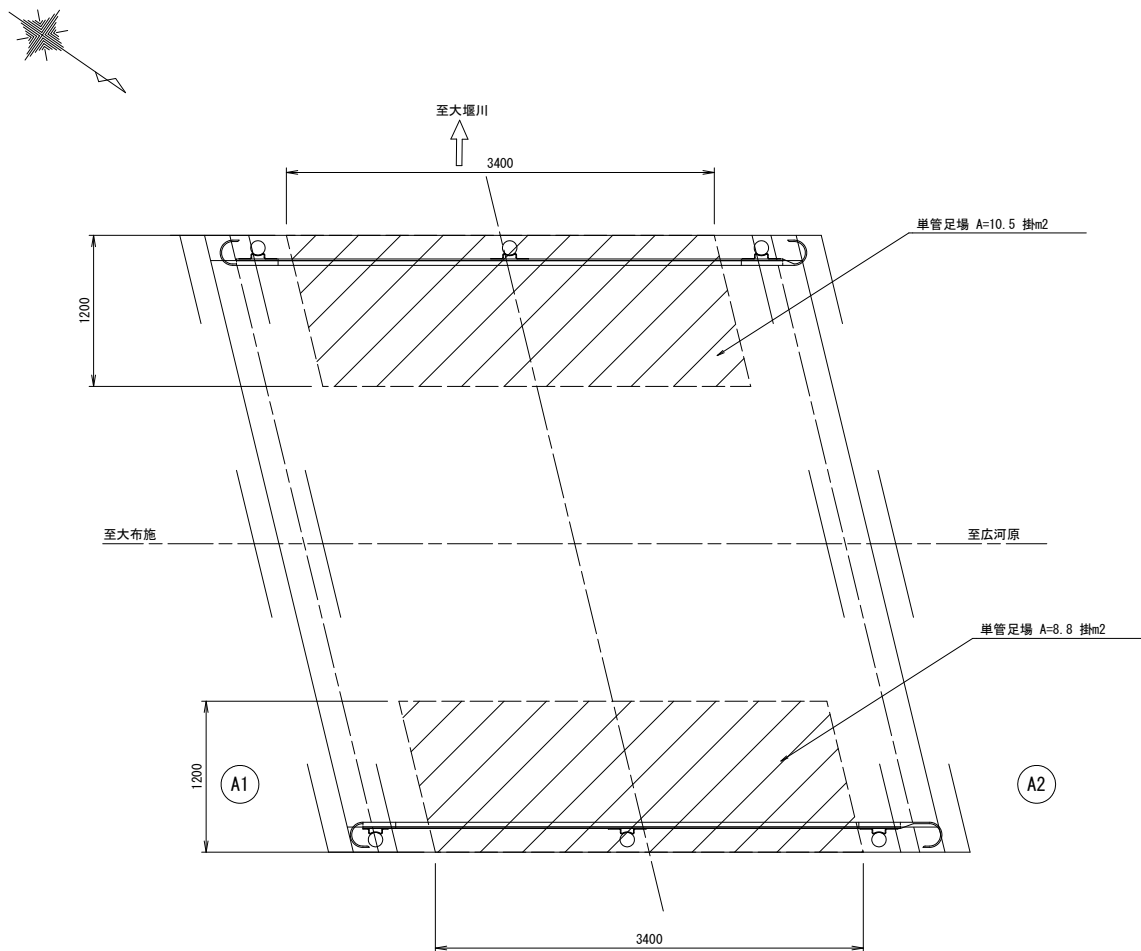


足場工

正 面 図



平 面 図



数量表

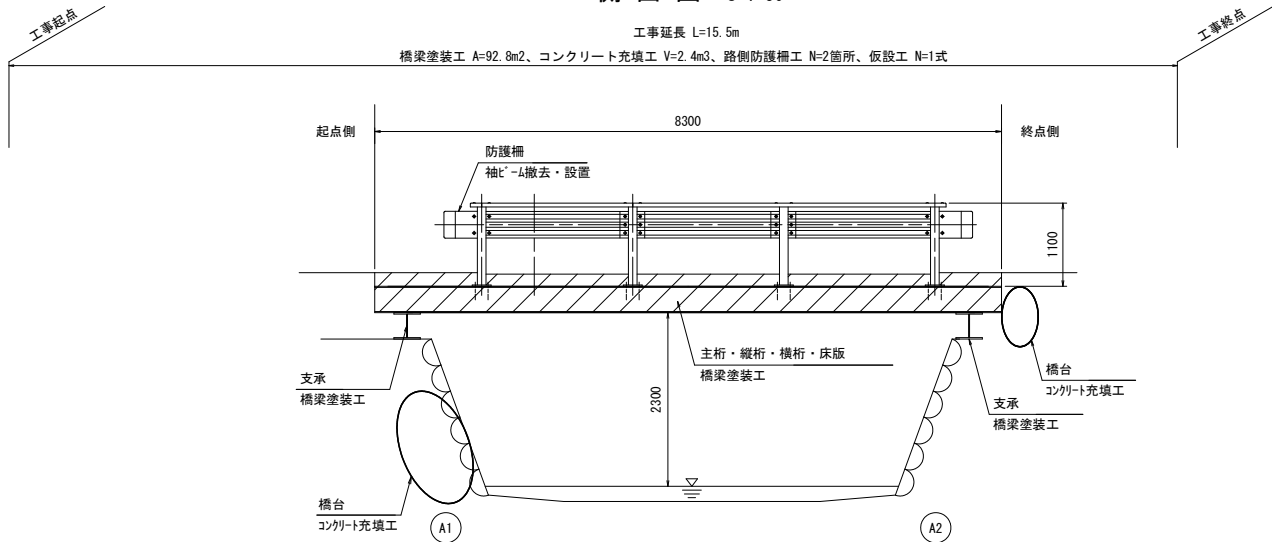
名 称	規 格	単 位	数 量
足場工 単管足場	安全ネットあり	掛m2	19.3

※足場下端部は、一定の通水ができるように、処理すること。

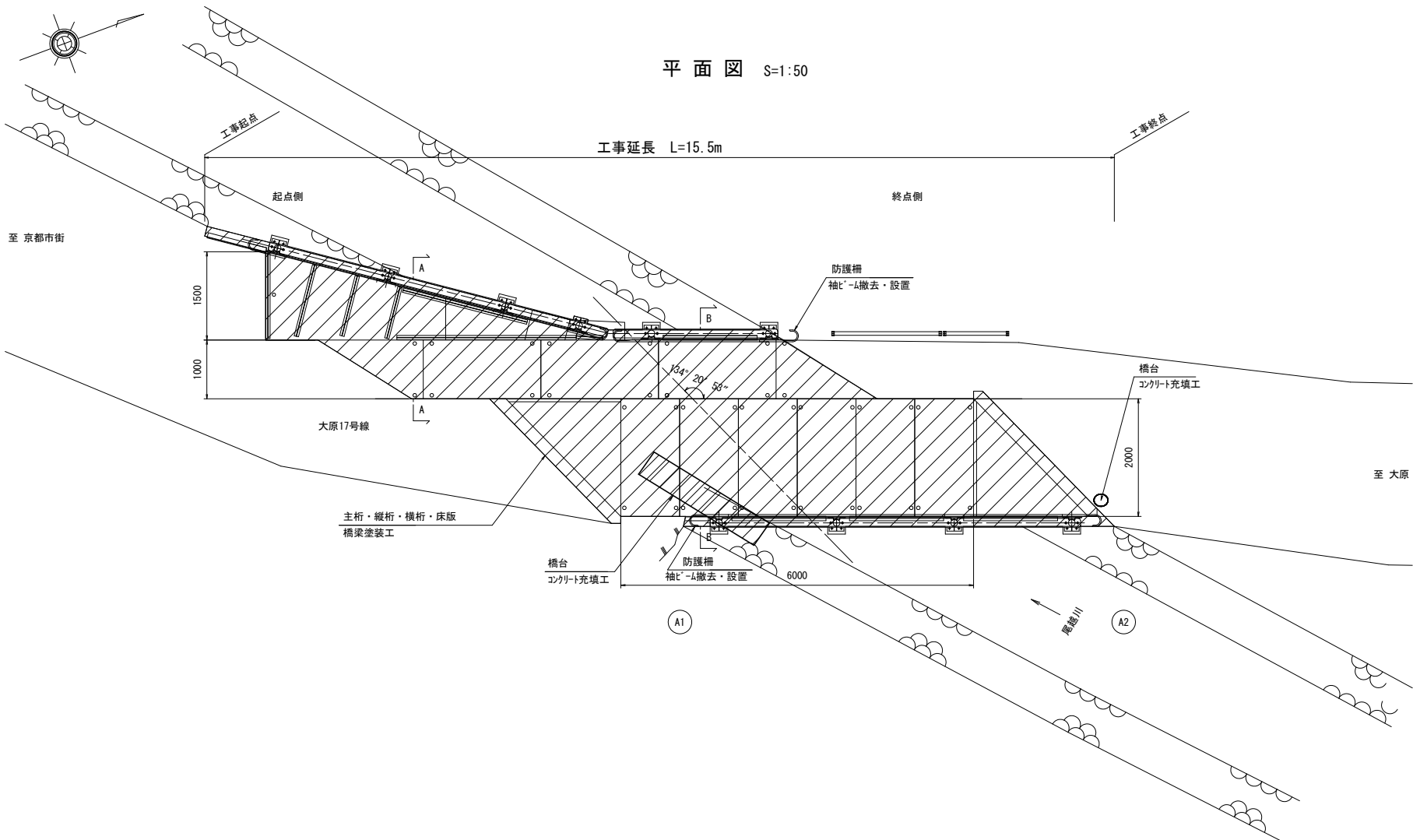
工 事 名	鎌倉口橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市左京区花脊大布施町他地内		
図 面 名	糖岳橋 仮設工 2（参考図）		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	S=1:30	図面番号	19/22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

蔵前橋 補修一般図

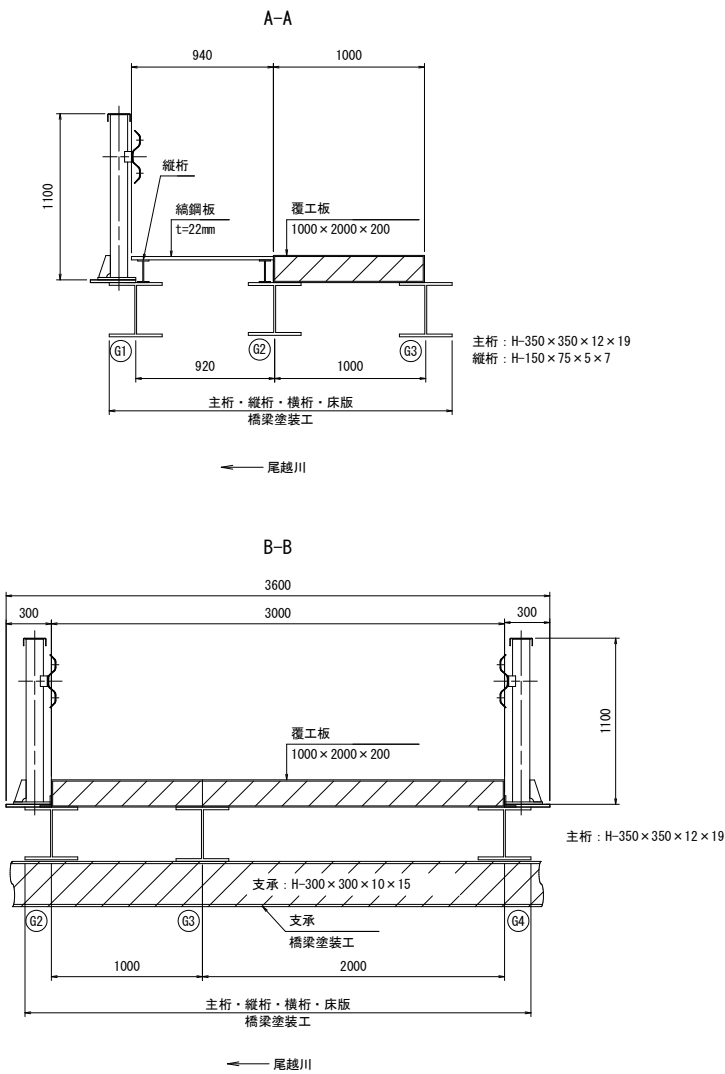
側面図 S=1:50



平面図 S=1:50



断面図 S=1:25



補修項目一覧表

対象部材	対策工
主桁	橋梁塗装工
横桁	
縦桁	
床版	
支承	橋梁塗装工
橋台	コンクリート充填工
防護柵	路側防護柵工

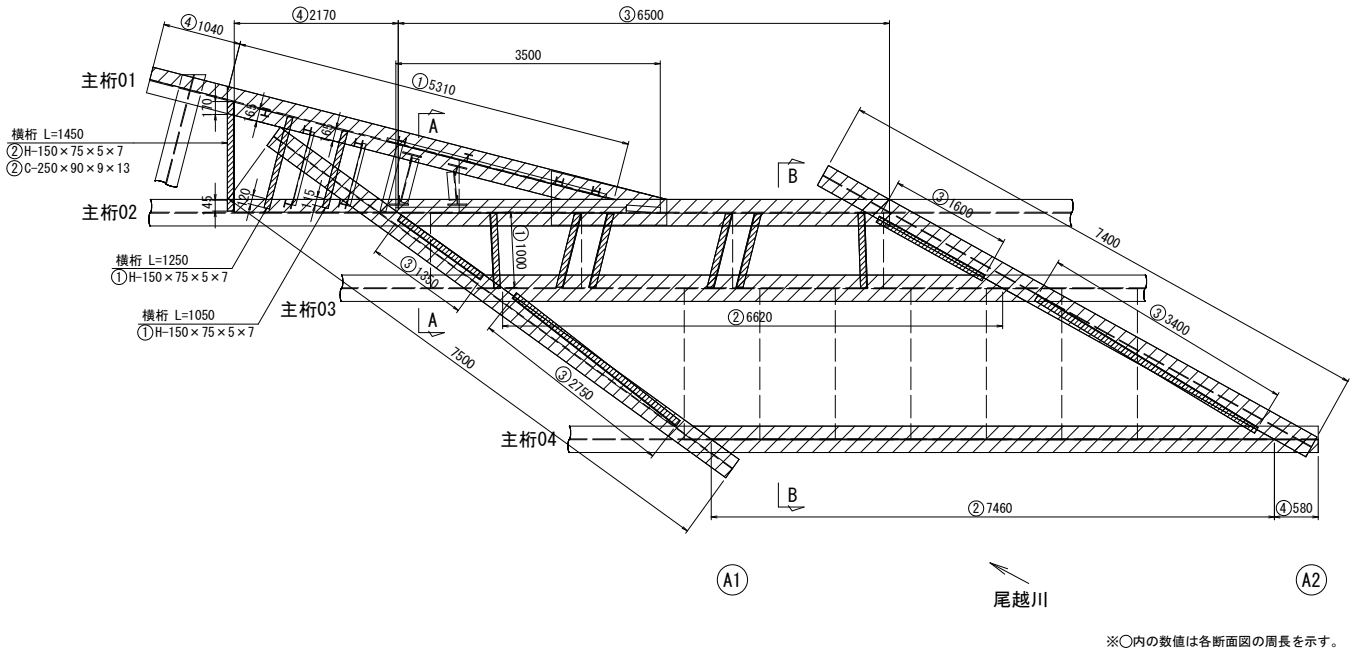
工 事 名	鎌倉口橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市左京区花脊大布施町他地内		
図 面 名	蔵前橋 補修一般図		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	20/22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

蔵前橋 補修図(その1)

橋梁塗装工

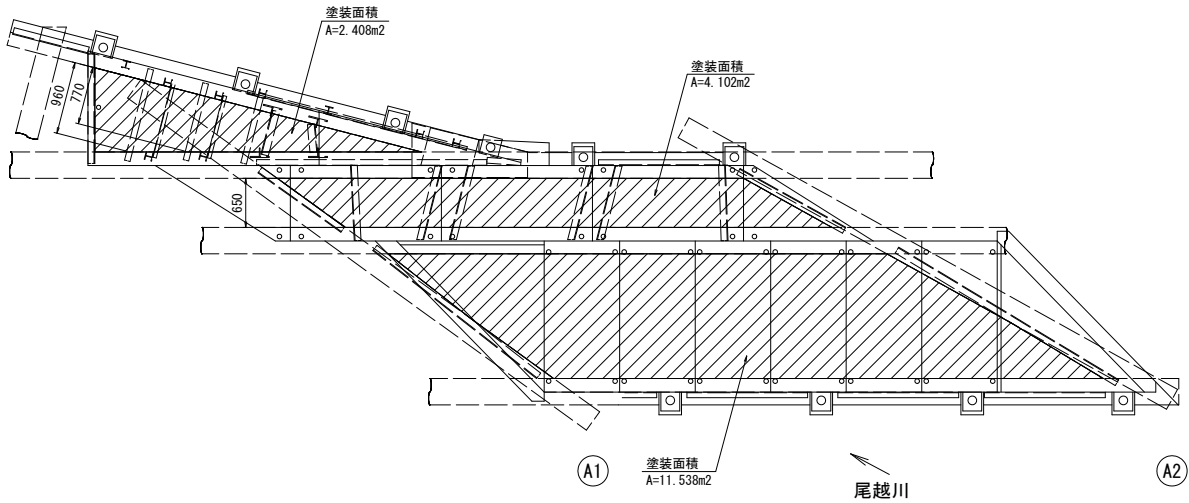
平面図 S=1:50

主桁・横桁・縦桁・支承



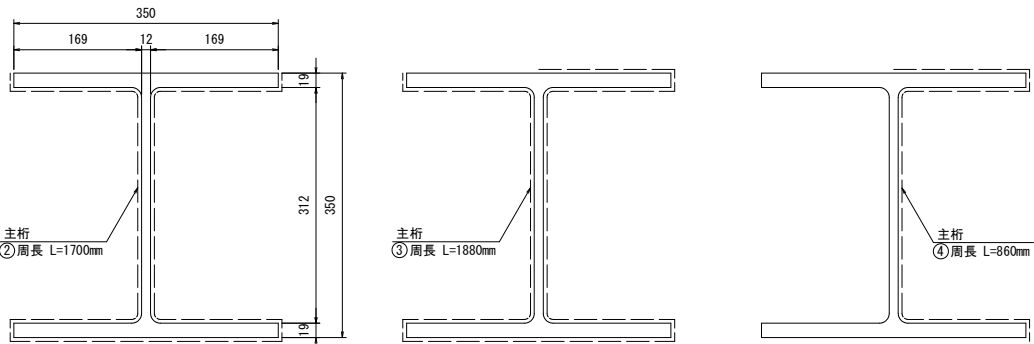
※○内の数値は各断面図の周長を示す。

床版下面

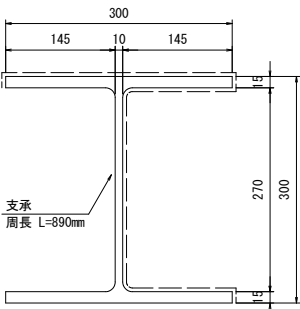


主桁断面図 S=1:5

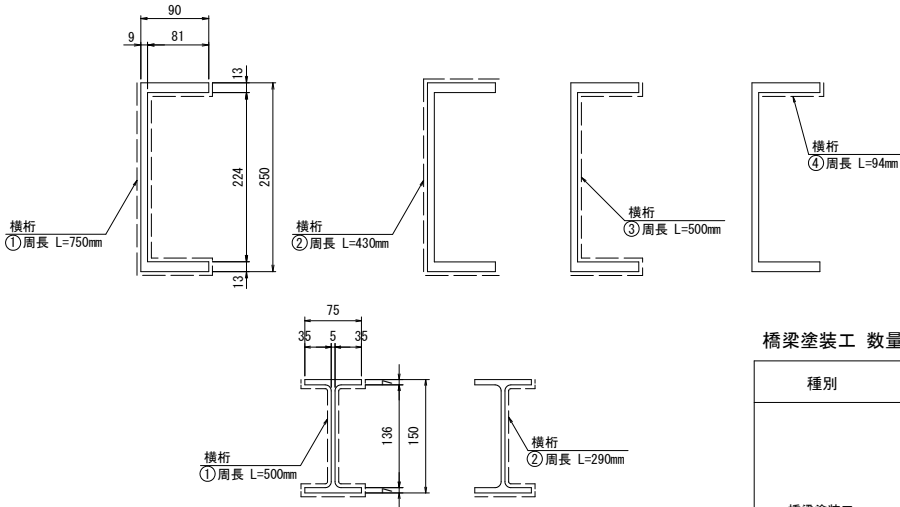
①全周長 L=2060mm



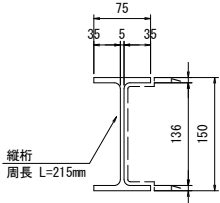
支承断面図 S=1:5



横桁断面図 S=1:5



縦桁断面図 S=1:5

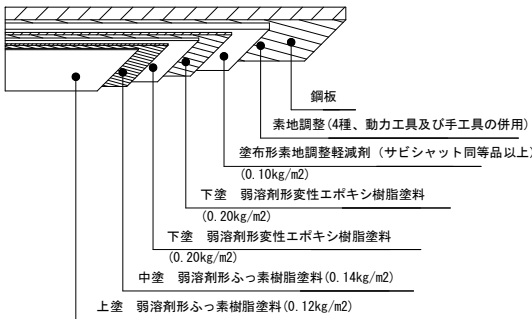


橋梁塗装工 数量表

種別	細別	規格	単位	数量
橋梁塗装工	素地調整	4種ケレン	m2	92.8
	塗布形素地調整	塗布形素地調整軽減剤 (サビシャット同等品以上)	m2	92.8
	下塗り	塗装箇所：主桁、横桁、縦桁、支承	m2	92.8
	中塗り	塗装箇所：主桁、横桁、縦桁、支承	m2	92.8
	上塗り	塗装箇所：主桁、横桁、縦桁、支承	m2	92.8

塗装要領図及び塗装仕様

Rc-Ⅲ 塗装系



Rc-Ⅲ 塗装系 (はけ、ローラー)

塗装工程	仕 様	使用量 (kg/m2)	塗膜厚	塗装間隔
1	素地調整	4種、動力工具及び手工具の併用	—	3時間～3日
2	塗布形素地調整軽減剤	サビシャット同等品以上	0.10kg/m 2	1日～10日
3	下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り	0.20kg/m 2	1日～10日
4	下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り	0.20kg/m 2	1日～10日
5	中塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料中塗り	0.14kg/m 2	1日～10日
6	上塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料上塗り	0.12kg/m 2	1日～10日

鋼道路橋防食便覧 P.11-118

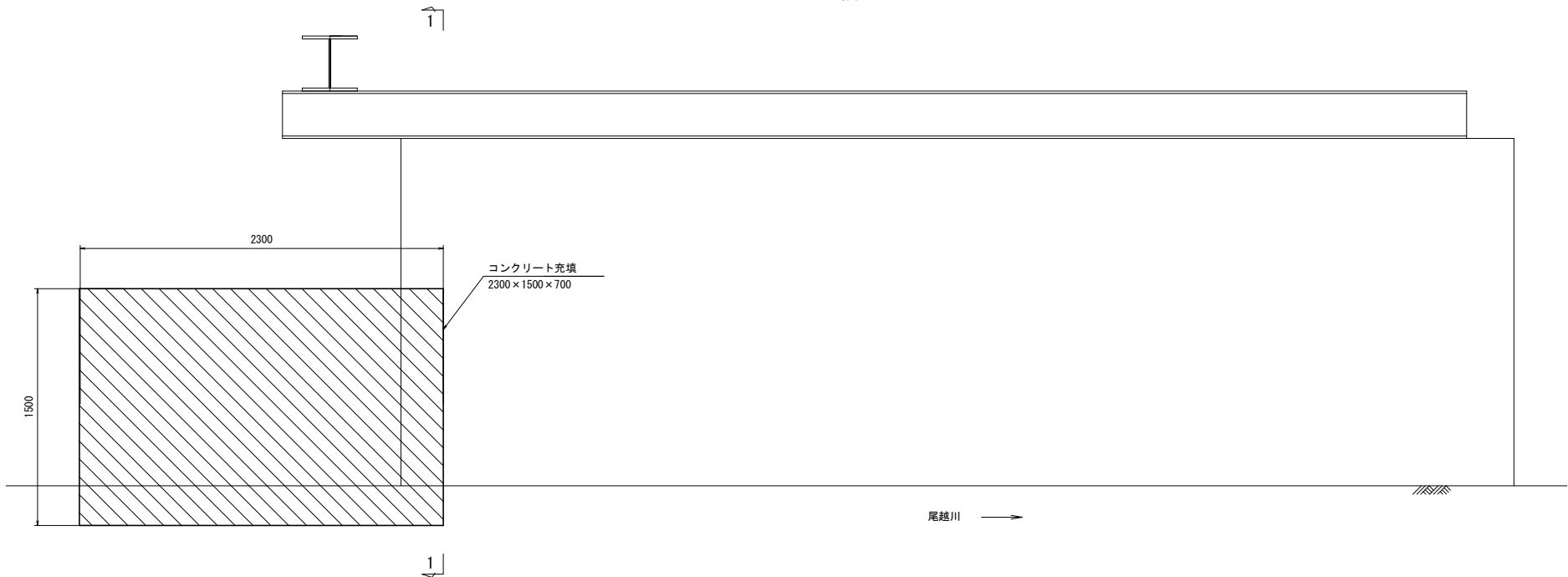
工 事 名	鎌倉口橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市左京区花脊大布施町他地内		
図 面 名	蔵前橋 補修図(その1)		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	21/22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

蔵前橋 補修図（その2）

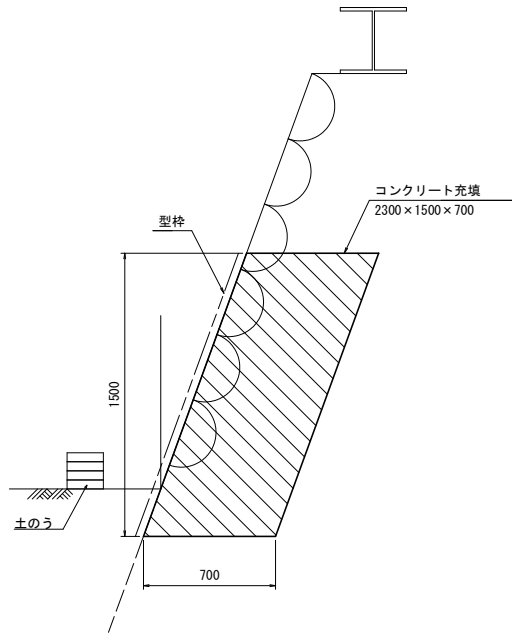
コンクリート充填工
仮設工

断面2-2

A1橋台正面図 S=1:20

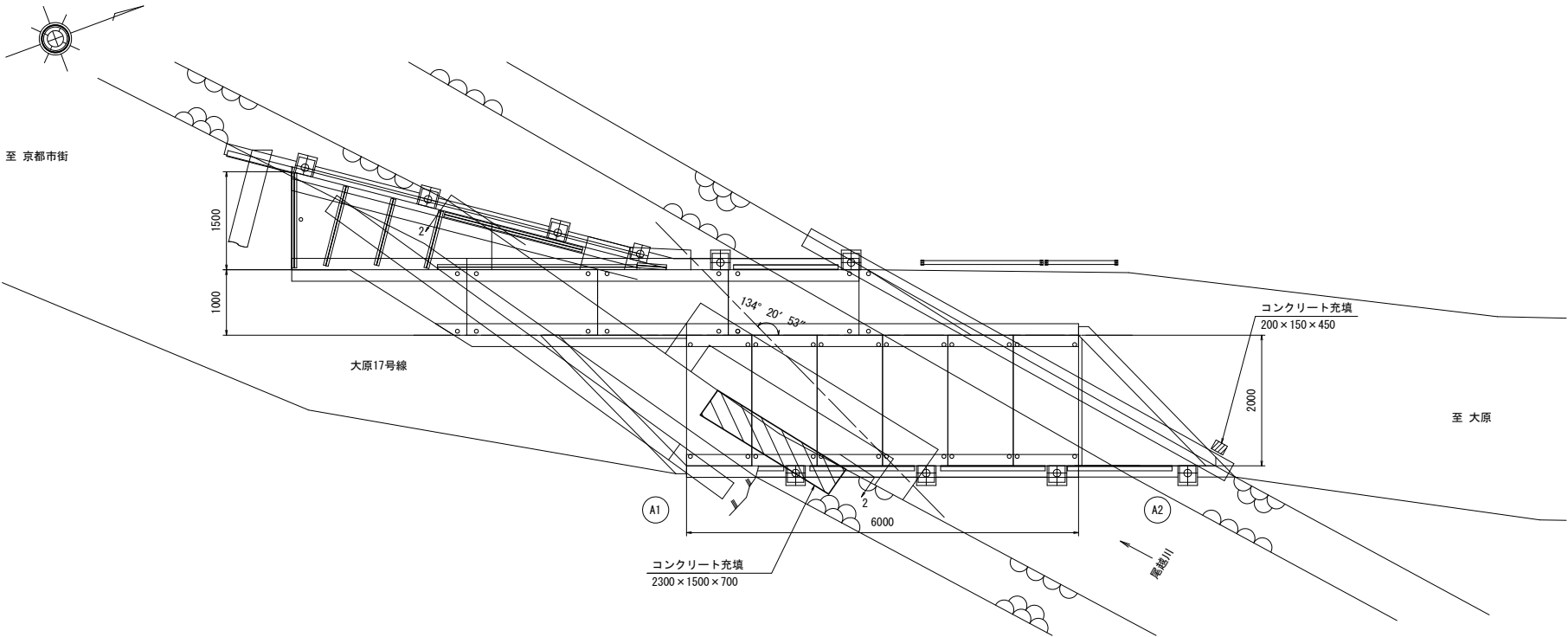


断面1-1 S=1:20



※コンクリート打設口については、現場状況を確認のうえ、工夫して施工すること。

平面図 S=1:50



コンクリート充填工 数量表

種別	規格	単位	数量	備考
コンクリート	18-8-40BB	m3	2.43	
型枠	一般型枠	m2	3.45	

工 事 名	鎌倉口橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市左京区花脊大布施町他地内		
図 面 名	蔵前橋 補修図(その2)		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	22/22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			